

委託事業実施内容報告書
平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】

内容報告書

団体名：一般社団法人磐田国際交流協会

1. 事業の概要

事業名称	多文化共生のまちづくりを目指す日本語教育環境整備事業
事業の目的	多様な連携・協力体制を構築し、多角的な切り口から「生活者としての外国人」のニーズに応える多様な日本語学習の場を提供するとともに、多文化共生のまちづくりを目指して地域の日本語教育環境を整える。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	事業開始時には以下のような課題があった。 【地域に居住する外国人の実情】 磐田市の外国人の人口は平成28年11月末現在6,517人で、総人口の約3.8%を占め、日本人の人口減少も相まって、一年間で約0.2%高くなっている。国籍別では、外国人の約6割を占めているブラジル人の増加傾向が続き、昨年度増加が目立ったフィリピン人は、ここ一年間はほぼ横ばいで、中国人は若干の減少傾向である。在留資格別では、永住者と定住者が約4分の3を占め、その他、技能実習生、日本人の配偶者、企業内転勤など多国籍で多様な外国人が居住している。技能実習生では、近年、ベトナム人が増えているが、それとは別に、技術・人文知識・国際業務の在留資格で派遣で働く高学歴のベトナム人、中国人が日本語教室に訪れるようになった。 【日本語教育活動の現状】 年間を通して、市内4カ所日本語教室を実施。地域行事に参加したり、市広報で一般参加者を募集して「外国料理交流会」を開く等、教室外の日本人と交流する「行動・体験を中心とした活動」が定着してきた。 地域との関係性づくりを目指した「地域つながりづくり日本語講座」では、2年、3年と継続して事業を行ってきた効果が表れ、自治会長と外国人が活発に意見交換をする姿が見られたり、地元の避難所運営訓練実行委員会が昨年度の反省を踏まえて外国人を受け入れる態勢を整え、充実した訓練を行うことができた。 「子育て日本語教室」では、多国籍の外国人が参加し、日本人参加者も含め、相互の多文化理解が深まった。参加者が主体となって行う「多言語絵本よみかきせ」は、「いわた国際ナショナルフォーラム2017」の他、図書館でも実施することができ、日本人住民の多文化理解と外国人の活躍の場になっている。 【日本語教育活動を行う上での課題】 ①日本語教室の日本語支援者が不足で、対話活動をする上で、外国人との人数のバランスがとれず、十分な対応ができないことがある。更なる人材養成が必要。 ②日系フィリピン人の呼び寄せの子どもが学校に通っていないことが分かり、教育委員会に繋いだケースが複数回あった。今後、日本語教室がセーフティーネットとしての役割も担っていくためには、日本語支援者に多文化ソーシャルワーカーとしての研修が必要。 ③日本語教室に数回しか参加しない日系ブラジル人、フィリピン人が多いので、生活に必要な日本語を短期で学べるプログラムがあるとよい。 ④外国人が日本語を使って生活したり、地域社会に参画するためには、日本人側にも文化の違いに対する寛容性と外国人とのコミュニケーション力が求められるので、日本人と外国人が交流できる活動を増やして、相互理解を促進していかなければならない。 ⑤家族で入国するブラジル人や学齢期の子どもを呼び寄せるフィリピン人が多いため、学校現場では一年間を通して外国人児童生徒の日本語初期指導の対応に追われており、学校における日本語支援者の拡充が喫緊の課題である。
本事業の対象とする空白地域の状況	
	1. 学び合い、人とつながる日本語教室の実施【取組1】 市内4カ所、「生活者としての外国人」の多様なニーズに合わせた日本語教室を実施した。外国人参加者のレベルに合わせたレベル別活動に加え、対話を中心とした活動と、行動・体験を中心とした活動を取り入れた。「標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例」を参考に、外国人参加者が必要としている日本語を優先的にテーマに取り上げた。要望に応じて対話を通じた読み書き活動も行った。 行動・体験中心の活動では、行政、地域交流センター、市民団体、社会福祉協議会、専門機関、日本人住民等と連携・協力を図りながら、外国人にとって魅力のある学習内容になるように工夫するとともに、教室以外の日本人とコミュニケーションをとる機会を多く作った。行動・体験中心の活動を行う過程において、外国人参加者も一緒に企画や準備を行い、主体的に活動を作り上げた。そうすることで、日本語教室での役割感、居場所感を育み、自分に自信を持ち、その延長線上において、地域社会でもその担い手として地域活動に参加でき、多様なつながりを持って、より自分らしく生き生きと生活できるようになることを目指した。また同時に、参加型の行動・体験中心の活動により外国人と日本人が互いに学び合う多文化交流の場となり、互いの文化を理解し、対等な関係性を築きながら外国人と日本人が双方向的にコミュニケーション力を高めていくことを目指した。 教室別では、竜洋教室の会場として使用している竜洋交流センターが、まさに、地元の消防団や中学を巻き込みながら竜洋地区の地域活動の活性化を推進しようとしているところで、竜洋教室もセンターと連携を取る事によって、多文化共生の立場から地域づくりの活動に参画し、地域との繋がりを築いた。そのことにより、日本語教室の存在と意義を地域住民に認識してもらい、外国人及び日本人の参加者を増やして教室活動の充実を図った。 ワークピア教室は、会場が市の中心部にあるため、入国したばかりのブラジル人が年間を通して訪れるが、1、2カ月で来なくなってしまうことが多い。継続が難しいことを前提に、日本で生活するために必要な情報を厳選し、日本生活スタートプログラムとして、最低限必要な日本語を絞り込み、短期で学べるようにした。①交通安全・防犯・防災・救急対応 ②公共交通機関・買い物 ③労働・税金 ④子育て・教育 ⑤病院・郵便局 ⑥困った時には(相談窓口)のテーマをローテーションして繰り返すことで、いつでも新規学習者を受け入れることができるように配慮した。来日して間がなく、日本語の習得に対して意欲がある時期をねらい、日本で安心・安全に、より良い生活が送れるよう支援した。実施に当たっては、専門機関及び学習者の言語が話せる外国人補助者と連携・協力した。活動方法は、対話中心、行動・体験中心で行い、短期間でも参加者相互の関係性を築き、日本語教室を居場所と感じたり、日本語教室に参加すると、日本語を使ってできることが増え役に立つという実感をえられるように工夫した。

事業内容の概要	2. 地域つながりづくり日本語講座の実施【取組2】 (1)自治会長と話そう 自治会連合会豊田支部の「多文化共生に向けた自治会長情報交換会」と合同で年2回「自治会長と話そう」を開催した。1回目は「多文化共生」、2回目は「地域防災」をテーマに、講話と、外国人と自治会長との意見交換を行った。このことは、地域の日本人と日本語で会話をする実際の体験ができるだけでなく、外国人の「地域社会参画」や「防災」に対する意識啓発に繋がった。同時に、普段外国人に接する機会が少ない自治会長が、外国人と直接対話することで、外国人に対する理解が促進されたり、お互いにどう話したらいいのかを体験を通して相互学習することができた。第2回の「地域防災」には、昨年、熊本地震の際に外国人被災者支援を行った一般財団法人熊本市国際交流振興事業団から講師を招き、参加者が危機感を持って多文化防災のことを考えられるようにした。 (2)地域防災訓練への参加 12月に行われた地域防災訓練に外国人を引率して参加した。富岡地区の避難所運営訓練実行委員会は、これまで3年連続で日本語教室の外国人を受け入れており、役員の外国人対応の意識が定着してきている。実行委員会の役員と連携して、日本人と外国人が共に協力し合えるような訓練方法を考えた。富岡地区の避難所運営訓練は、内容、質ともに市内でも突出しており、他地区のロールモデルとなっているので、ここを拠点にすることで、多文化防災が将来的に市全体へ波及することをねらった。一方で、自分が住んでいる地区の訓練に参加できる場合は、どんな外国人がどの訓練に参加するかの情報を事前に行政や自主防災会に知らせるなど外国人と地域とを繋ぎ、受け入れ態勢を整えてもらった。実施の前後には、日本語教室の対話活動で情報を収集したり、災害の日本語を学んだり、訓練の振り返りをし、実際の生活で活かせるようにした。 3. 保育園との連携による子育て日本語教室の実施【取組3】 就学前の子どもを持つ親を対象に、子育てと教育について学ぶ教室を実施した。外国人、日本人、両方の親子を対象に実施し、対話活動を取り入れて相互の多文化理解を図り、国や文化を超えて子育て仲間をつくる機会とした。4年目となる今年は、これまでの活動を踏まえて内容を精査し、子どもとの関わり方、遊び、ことばと教育、防災、料理・栄養について学んだ。これらの活動を通して、生活や子育てに関する日本語を習得できるように工夫した。更に、いわたインターナショナルフォーラムの場を活用して、学んだことを日本語や多言語で発信し、参加者のエンパワメントと子育てネットワークの広がりに繋がった。実施に当たっては、市内で外国人が最も多い保育園と、親子を対象に活動している市民団体等と連携して行った。 4. 学び合い、人とつながる日本語教室を支える人材養成の実施【取組4】 学び合い、人とつながる日本語教室を支える人材を養成するために「日本語ボランティア養成講座」を実施した。「地域の多文化共生」「地域日本語教室と日本語ボランティアの役割」「対話を中心とした教室活動、読み書き活動」、「行動・体験を中心とした教室活動」について学んだ。講座修了後に、スムーズに教室活動に参加できるよう、活動案を作成し実際の教室で授業を行う実践を取り入れた。講座を通して、多文化共生のまちづくりの意識を醸成し、外国人に対して「教える」ではなく「学び合い、共に作る」姿勢を持って、対話活動を実践できる人材を養成し、日本語教室の日本人不足の解消と活動内容の更なる充実を目指した。 5. 日本語支援者のための多文化ソーシャルワーカー研修の実施【取組5】 日本語教室が、外国人にとって地域社会との接点であることを踏まえ、セーフティーネットとしての役割を担うことができるよう、日本語支援者が多文化ソーシャルワーカーの資質を身につけることを目的に「日本語ボランティア研修会」を実施した。法律、医療、福祉の各分野について、専門家を講師に迎え知見を得た。このことにより、外国人が抱えやすい問題を知り、それに対する支援の情報を得て、日本語教室に参加する外国人に対して正確かつ適切なアドバイスをしたり、必要に応じて支援機関に繋ぐことができるようになった。地域日本語教室の存在意義を高めることにも繋がった。 6. 教育委員会との連携によるJSLサポーターの養成・研修の実施【取組6】(JSLサポーター：JSLカリキュラムに則った学習をサポートする支援者) 学校における外国人児童生徒に対する日本語指導をサポートするJSLサポーターの人材拡充のために教育委員会と連携して「JSLサポーター養成講座」を実施した。まず初めに「外国人児童生徒の実情と支援体制」の講義を受けた後、具体的なイメージを持って学ぶために、小学校の協力を得てサポートの様子を見学した。続いて「支援方法と心得」について学び、サポーターの役割をより深く理解してもらうために、小中学生の時に支援を受け、現在は進学したり社会人になっている経験者の体験談を聞く機会を設けた。更に、在籍学級と在籍学級以外の教室の両方で実際にサポートを行い実践力を養った。既に活動しているサポーターも受講対象とし、サポーターの資質の向上を図った。JSLサポーターの人材拡充を行うことで、増え続ける外国人児童生徒への学校における日本語指導の充実に繋がった。 7. フォーラムにおける日本語教室の活動紹介と成果発表【取組7】 市民団体や企業、行政からなる実行委員会を組織して開催する「いわたインターナショナルフォーラム」において、日本語教室の活動を紹介したり、子育て日本語教室の成果発表を行うなどして、地域住民に対する日本語教室の周知を図り、日本語教育への理解を促進した。
事業の実施期間	平成29年5月～平成30年3月(11か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	米勢 治子	東海日本語ネットワーク
2	高畑 幸	静岡県立大学国際関係学部
3	古橋 哉子	(公財)静岡県国際交流協会
4	村上 勇夫	所属磐田市自治会連合会
5	三輪 邦子	NPO法人磐田まちづくりネットワーク
6	渡邊 カルロス	株式会社ORJ(オーアールジェイ)
7	吉川 健一	株式会社ラスター
8	袴田 美穂	磐田市教育委員会学校教育課
9	河合 典子	磐田市地域づくり応援課
10	高塚 勝久	(一社)磐田国際交流協会



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成29年6月26日 (月) 14:00～16:00	2時間	磐田市豊田支所2階 大会議室	【運営委員】 米勢治子, 高畑幸, 村上勇夫, 平野利直, 渡邊カルロス, 袴田 美穂, 河合典子, 高塚勝久 【オブザーバー】 島岡信生, 宇野薫, 大場睦子, 伊藤ゆかり, 足立進一郎 【事務局】 鈴木亨司, 鈴木ゆみ, 川添裕子	1. 平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 概要説明 2. 各教室の実施状況と課題及び今後の活動計画について説明・協 議 3. 意見交換 ・ 奄洋地区の外国人の増加と対応策について ・ 放課後学習支援と日本語教室を連動させる。 ・ ポルトガル語通訳を配置して安心感を。 ・ 日本生活スタートクラスのような活動や子ども向けの支援が有 効。
2	平成29年10月23 日(月) 14:00～16:00	2時間	磐田市豊田支所	【運営委員】 米勢治子, 古橋哉子, 村上勇 夫, 三輪邦子, 平野利直, 袴田 美穂, 河合典子, 高塚勝久 【オブザーバー】 島岡信生, 宇野薫, 大場睦子, 伊藤ゆかり, 足立進一郎 【事務局】 鈴木亨司, 鈴木ゆみ, 川添裕子	1. 報告 ・ 自治会長と話そう「多文化共生」 ・ 日本語ボランティア養成講座経過報告 ・ 日本語支援者のためのソーシャルワーカー研修状況報告 ・ 外国の子どもの学習サポーター養成講座経過報告 2. 各教室の実施状況と課題及び今後の活動計画について説明・協 議 ・ 今回初めて開いた外国の子どもの学習サポーター養成講座で 発掘した人材をどう活用するかが課題 3. 意見交換 読み書き学習について ・ 対話と別に考えず、同じトピックでやる。 ・ 生活の中の文字情報を読み解く。
3	平成30年2月19日 (月) 14:30～16:30	2時間	磐田市豊田支所	【運営委員】 米勢治子, 平野利直, 渡邊カル ロス, 袴田美穂, 河合典子, 高 塚勝久 【オブザーバー】 島岡信生, 宇野薫, 大場睦子, 伊藤ゆかり, 足立進一郎 【事務局】 鈴木亨司, 鈴木ゆみ, 川添裕子	1. 報告 ・ 地域つながりづくり日本語講座(防災講座, 防災訓練参加) ・ 日本語ボランティア養成講座 ・ 日本語支援者のための多文化ソーシャルワーク研修(経過報 告) ・ 外国の子どもの学習サポーター養成講座 ・ いわた国際ナショナルフォーラム2018における活動紹介と成 果発表 2. 各教室の実施状況と課題及び今後の活動計画について説明・協 議 ・ ワークピア教室で、毎回、新規の学習者が5, 6人来るため対応 が大変。日本語補助者も不足。み。 ・ 日本語ボランティアの継続的な養成が必須。 3. 今年度の総括および来年度の方向性について意見交換 ・ 文化庁のアンケートに沿って今年度の事業を評価。 ・ 外国人が集まる地域であることを地域の活性化につなげるため にも、日本語教育環境の充実と地域住民の多文化共生への意識醸 成が大切。

(2)地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制

・磐田市役所外国人情報窓口の協力により、入国・転入者及び相談者等に日本語教室等の情報を周知した。

・社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」に出店した。その他、西貝地区文化祭実行委員会に委員として参加し、学習者によるステージ出演と模擬店出店をしたり竜洋交流センターの地域活性化事業に参画し、地域住民と日本語で交流する体験ができた。地域住民への日本語教室の周知と地域多文化共生への理解が促進された。

・外国人受入れ拠点病院に指定されている磐田市立総合病院にワークピア日本語教室に出向いてもらい「出前講座」を実施し、外国人の医療機関、医療費、健康保険等に対する理解促進を図った。

・ワークピア教室の日本生活スタートプログラムの実施に当たり、中東遠消防指令センター、遠州鉄道株式会社遠鉄バス、JR東海磐田駅、市内スーパーマーケット、磐田市教育委員会、磐田郵便局等の協力を得て行動・体験活動を実施し、実生活に役立つことを感じてもらい、学習者の定着に繋げた。

・磐田市豊田支所市民生活課、自治会連合会豊田支部、磐田市地域づくり応援課、磐田市危機管理課、多文化共生リソースセンター東海、一般財団法人熊本市国際交流振興事業団と連携・協力し、「多文化共生に向けた自治会長情報交換会」と合同で「自治会長と話そう」を開催した。更に、富岡地区自治会・自主防災会等と連携・協力し、「防災訓練への参加」を実施した。このことにより、外国人の「地域社会」や「防災」に対する意識向上と防災用語の習得、及び地域の多文化共生の理解促進、地域防災の多文化対応の充実、外国人住民と日本人住民相互のコミュニケーション力の向上があった。

・社会福祉法人聖隷福祉事業団こうのとり東保育園と市民団体「子どもの健康と環境を考える会」及び「みんなでうさぎ山を楽しむ会」、聖隷クリストファー大学と連携・協力して「子育て日本語教室」を実施した。こうのとり東保育園は子どもとの関わり方と料理教室を担当し、「子どもの健康と環境を考える会」は「親子のための防災講座」を、「みんなでうさぎ山を楽しむ会」は「自然の中の外遊び体験」を担当した。聖隷クリストファー大学からは「こどもの心と成長―親子アート活動」の講師を招いた。このことにより、様々な体験を通して生活や子育てに関する日本語を習得したり、子どもの成長について学んだり、多文化理解を促進し子育てネットワークを広げることができた。

・「日本語ボランティア養成講座」の実施に当たり、静岡県立大学、東海日本語ネットワークから講師を招き、人材養成に繋げた。

・日本語支援者のための多文化ソーシャルワーカー研修の実施に当たり、法律事務所、行政書士事務所、磐田市立総合病院、浜松国際交流協会から講師を招いた。専門家の話を聞くことで日本語支援者の知見を高め、日本語教室がセーフティーネットとしての役割を担うことに繋がった。

・「JSLサポーター養成・研修」を実施するに当たり、東京学芸大学及び磐田市教育委員会から講師を招き、外国人児童生徒の実情と支援について学んだ。また、市内小学校の協力により見学・実践を行うことで、実際のサポートに必要なスキルを身につけた。

・市民団体や企業、行政からなる実行委員会を組織して開催する「いわたインターナショナルフォーラム」において、日本語教室の活動紹介と成果発表を行った。ブースを出展して日本語教室の活動を紹介したり、学習者が中心となって体験コーナーを運営し、外国人のエンバウメントにつなげたり、地域住民の外国人住民に対する理解を深めたり、広く一般市民への日本語教室の周知ができた。

(3)中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本 事 業 の 実 施 体 制	1. 学び合い、人とつながる日本語教室の実施【取組1】 鈴木ゆみ コーディネーター(教室間調整、指導者・補助者配置、相談・助言) 川添裕子 コーディネーター(日本語支援者の指導・助言、新規学習者対応)事務作業担当、指導者 伊藤ゆかり 竜洋教室コーディネーター(教室運営・活動企画)、指導者 宇野薫 豊田教室コーディネーター(教室運営・活動企画)、指導者 大場睦子 西貝教室コーディネーター(教室運営・活動企画)、指導者 足立進一郎 ワークピア教室コーディネーター(教室運営・活動企画)、指導者 社会福祉協議会「ふれあい広場」主催 西貝地区文化祭実行委員会及び西貝交流センター「西貝地区文化祭」主催 竜洋交流センター 竜洋地区地域活性化事業 磐田市立総合病院「外国人向け医療出前講座」講師 磐田警察署生活安全課・中東遠消防指令センター・遠州鉄道株式会社遠鉄バス・JR東海磐田駅・市内スーパーマー ケット・見付商店街・磐田市子育て支援課・子育て支援センター・磐田市教育委員会・磐田市立総合病院・磐田郵便局 日本生活スタートプログラムへの協力 磐田市地域づくり応援課 ワークピア教室の会場の確保 磐田市外国人情報窓口 日本語教室参加者募集チラシ配布 各種市民団体・日本人住民 行動・体験活動の講師・参加者等 2. 地域つながりづくり日本語講座の実施【取組2】 鈴木ゆみ コーディネーター(企画・運営、連携交渉) 川添裕子 事務作業担当 伊藤ゆかり 竜洋教室からの講座参加者取りまとめ・サポート 宇野薫 豊田教室からの講座参加者取りまとめ・サポート 大場睦子 西貝教室からの講座参加者取りまとめ・サポート 足立進一郎 ワークピア教室からの講座参加者取りまとめ・サポート 多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井佳彦「自治会長と多文化共生について話そう」講師 (一財)熊本市国際交流振興事業団 事務局長 八木浩光「自治会長と防災について話そう」講師 磐田市豊田支所市民生活課「多文化共生に向けた自治会長情報交換会」事務局 自治会連合会豊田支部「多文化共生に向けた自治会長情報交換会」主催 磐田市地域づくり応援課 市役所内各部署の連携・調整 磐田市危機管理課「自治会長と防災について話そう」防災訓練協力 富岡地区自治会・自主防災会等「防災訓練」主催 3. 保育園との連携による子育て日本語教室の実施【取組3】 鈴木ゆみ コーディネーター(企画・運営、連携交渉) 社会福祉法人聖隷福祉事業団こうのとり東保育園 会場提供、「子どもとの関わり方」・「料理教室」講師 子どもの健康と環境を考える会「親子のための防災講座」講師 みんなであそび山を楽しむ会「自然の中の外遊び体験」講師 聖隷学園 聖隷クリストファー大学社会福祉学部子ども教育福祉学科 教授 鈴木光男「こどもの心と成長—親子アート活動」 講師 南御厨交流センター「親子のための防災講座」親子避難所体験 会場提供・募集協力 磐田市多文化交流センター・カトリック磐田教会 活動補助者、募集協力 磐田市幼稚園保育園課・子育て支援課・子育て支援センター・南御厨交流センター 募集協力 NPO法人磐田まちづくりネットワーク 託児協力 4. 学び合い、人とつながる日本語教室を支える人材養成の実施【取組4】 川添裕子 コーディネーター(企画・運営、連携交渉)、事務作業担当、「対話を中心とした教室活動、読み書き活動」・ 「行動・体験を中心とした教室活動」・「活動の実践」・「振り返り・まとめ」講師 磐田市多文化交流センター 准教授 高畑幸「地域の多文化共生」講師 静岡県立大学国際関係学部 准教授 高畑幸「地域の多文化共生」講師 東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子「地域日本語教室と日本語ボランティアの役割」講師 5. 日本語支援者のための多文化ソーシャルワーカー研修の実施【取組5】 鈴木ゆみ コーディネーター(企画・運営、連携交渉) 行政書士、磐田市立総合病院、法律事務所、(公財)浜松国際交流協会 講師 6. 教育委員会との連携によるJSLサポーターの養成・研修の実施【取組6】 茂木眞佐代 コーディネーター(企画・運営、連携交渉) 東京学芸大学教育学部 教授 齋藤ひろみ「外国人の子どもの社会参加を支援する—ライフコースと学びの連続性の視点から—」講 師 磐田市教育委員会学校教育課「磐田市における外国人児童生徒の実態と支援体制について」講師 鈴木亨司「支援の心得と支援方法」・「サポート実践」講師 日本語支援を受けた経験者 体験談 7. フォーラムにおける日本語教室の活動紹介と成果発表【取組7】 鈴木ゆみ 子育て日本語教室成果発表担当、教室間調整 川添裕子 事務作業担当 宇野薫 活動紹介の企画 大場睦子・伊藤ゆかり・足立進一郎 日本語スピーチ指導 前嶋義夫 いわたインターナショナルフォーラム実行委員、豊田教室日本語スピーチ指導 市民団体・企業・行政 いわたインターナショナルフォーラム実行委員
--	---

3. 各取組の報告

＜取組1＞									
取組1	取組の名称		学び合い、人とつながる日本語教室						
	取組の目標		・生活に必要な日本語の習得 ・地域社会で生き生きと生活できるように、人間関係を築くための日本語コミュニケーション力を養成し、地域社会への参画につなげる ・行動・体験中心の活動を通して、地域の日本人住民が外国人と交流することで、異文化に対する理解を深め、多文化共生のまちづくりに貢献する						
	取組の内容		「標準的なカリキュラム案で取り上げられている生活上の行為の事例」を参考に、日本で生活するために必要な日本語教育を実施した。 対話を中心とした活動や、行動・体験を中心とした活動を取り入れ、地域連携を通じ外国人参加者をエンパワーメントし、地域社会への参画に役立つ日本語教育を実施した。 1. 豊田教室 9月 磐田ふれあいフェスタへの参加【社会福祉協議会との連携】 対話活動と行動・体験活動を行う上で、読み書き活動を積極的に取り入れた 2. 西貝教室 日本文化の紹介・体験【日本文化の専門家の協力・交流】 地区文化祭への参加【西貝交流センター、西貝地区文化祭実行委員会との連携】 3. 竜洋教室 外国人参加者が講師になる外国料理教室【竜洋交流センター、地域の日本人住民との交流】 竜洋地区地域活性化事業への参画【竜洋交流センター、地域の日本人住民との交流】 4. ワークビア教室 外国人参加者が講師になる外国料理教室【地域の日本人住民との交流】 日本生活スタートアッププログラム ①交通安全・防犯・防災・救急対応【磐田消防署、中東遠消防指令センター】 ②公共交通機関・買い物【遠州鉄道株式会社遠鉄バス、JR東海磐田駅、市内スーパーマーケット】 ③子育て・教育【磐田市教育委員会】 ④病院・郵便局【磐田市総合病院、磐田郵便局】						
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		行動・体験中心の活動を取り入れることにより、行政、地域交流センター、社会福祉協議会、市民団体、専門家、地域の日本人住民等と連携・協力を図った。						
	取組による日本語能力の向上		・対話を中心とした活動による生活に必要な日本語の習得 ・地域の日本人との交流による日本語コミュニケーション力の向上						
	参加対象者		生活者としての外国人 日本人協力者（行政、地域交流センター、社会福祉協議会、市民団体、専門家、地域の日本人住民）			参加者数 （内 外国人数）		477人 （460人）	
	広報及び募集方法		・磐田市外国人情報窓口にて、転入者及び相談者に、磐田市日本語教室一覧、日本語教室マップ、希望の教室のチラシを配布 ・ポルトガル語版「広報いわた」に募集記事を掲載 ・協会会報誌、ホームページに日本語教室チラシを掲載						
	開催時間数		総時間 305 時間（空白地域0時間）						
	主な連携・協働先		地域づくり応援課、社会福祉協議会、西貝地域づくり協議会、竜洋交流センター、地域の日本人住民、中東遠消防指令センター、磐田消防署、遠州鉄道株式会社遠鉄バス、JR東海磐田駅、市内スーパーマーケット、磐田市教育委員会、小学校教諭、磐田市総合病院、磐田郵便局、磐田信用金庫、（公財）静岡県国際交流協会						
参加者の出身・国別内訳 （人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル	
	27	101	0	1	54	37	10	168	
アメリカ（8人）、ペルー（20人）、日本（17人）、スリランカ（8人）、台湾（1人）、バングラデシュ（1人）、カナダ（1人）、マレーシア（2人）、アルゼンチン（2人）、インド（13人）、オーストラリア（1人）、カンボジア（2人）、パラグアイ（1人）、ブータン（1人）、ヨルダン（1人）									

アメリカ(8人)、ペルー(20人)、日本(17人)、スリランカ(8人)、台湾(1人)、バングラデシュ(1人)、カナダ(1人)、マレーシア(2人)、アルゼンチン(2人)、インド(13人)、オーストラリア(1人)、カンボジア(2人)、パラグアイ(1人)、ブータン(1人)、ヨルダン(1人)

実施内容【豊田教室】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名 斜体・太字:副査有	補助者名 斜体・太字:副査有
1	平成29年5月18日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	11	買い物	日頃の自分の買い物について「いつ、どこで、何を・・・」「おすすめ」等を話す。 周りの人の話を聞き、今後の買い物の参考にする。	伊藤ゆかり,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,加藤恵美,中尾和可奈,山下登志夫,リンチンメイ
2	平成29年5月25日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	12	警察, 救急車, 消防車を呼ぶ	通報の仕方を知り、緊急時に備える。	青島純江,宇野薫,加藤恵美,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	伊藤ゆかり,岩城宣子,大石佳典,兼子桂司,永井秀和,茂木眞佐代,リンチンメイ
3	平成29年6月8日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	17	私の行きたい所	行きたい場所やおすすめの場所を話し、その場所についての情報を得る。	青島純江,宇野薫,大石佳典,川添裕子,田中隆,前嶋義夫	青島紗希子,伊藤ゆかり,岩城宣子,加藤恵美,加藤清寿,兼子桂司,中尾和可奈,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
4	平成29年6月15日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	20	自己紹介	初めて会った人に自分のことを伝えられるようになる。同じクラスに参加する人のことを知る。	宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫	青島紗希子,伊藤ゆかり,岩城宣子,大石佳典,加藤恵美,兼子桂司,永井秀和,中尾和可奈,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
5	平成29年6月22日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	18	公共施設	図書館, スポーツ施設など無料や低料金で使える公共施設を知る。HPなどから情報を読みとる。	青島純江,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	岩城宣子,大石佳典,加藤恵美,兼子桂司,山下登志夫,リンチンメイ
6	平成29年6月29日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	20	テレビ	見たいテレビ番組を探すことができる。 普段見ている番組を通して、お互いの興味や関心について話す。	宇野薫,川添裕子,田中隆,中尾和可奈,前嶋義夫,吉田洋子	岩城宣子,大石佳典,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
7	平成29年7月6日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	19	わたしのにほんご	①自分の日本語の変化を意識化し、目標を立てる。 ②「テーマ決め」話したいテーマをみんなで決める。	青島純江,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫	青島佐希子,伊藤ゆかり,岩城宣子,大石佳典,加藤清寿,加藤恵美,谷山伸子,中尾和可奈,茂木眞佐代,リンチンメイ
8	平成29年7月13日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	18	料理	身近な話題で発話を増やす。食材の名前や、調理方法の語彙を得る。	宇野薫,加藤恵美,田中隆,前嶋義夫	伊藤ゆかり,岩城宣子,大石佳典,中尾和可奈,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
9	平成29年7月20日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	17	行きたいところ・乗り物	日本の行きたいところを話す。周りの人の話を聞き、情報を得る。 日本の乗り物について知る。今後の利用につなげる。	青島純江,伊藤ゆかり,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,岩城宣子,大石佳典,永井秀和,永島安希子,山下登志夫,リンチンメイ
10	平成29年8月3日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	25	豊田ふれあいフェスタの計画	豊田ふれあいフェスタの内容を考え話し合うことで、自分たちが中心になって参加するという意識を持つ。	青島純江,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫	青島佐希子,伊藤ゆかり,岩城宣子,大石佳典,加藤清寿,加藤恵美,兼子桂司,永井秀和,中尾和可奈,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ

11	平成29年8月6日 (日) 15:00～19:00	4	豊田北部小 学校 運動場	8	フェスタ加茂参加	地域の夏祭りに、外国人家族手作り料理を出し、地域の方々と言葉を交わす事によって、地域の方々に外国人家族に親しみを持ってもらう。更に“地域の一員”との認識を外国人と日本人両方に持ってもらう。	宇野薫 3.5h(15:00～18:30)、 川添裕子 3.5h(15:00～18:30)	片岡静彦、 鈴木ゆみ 1.5h(17:00～18:30)、茂木眞佐代 3h(16:00～19:00)
12	平成29年8月20日 (日) 16:00～19:00	3	富岡交流センター	6	地域夏まつり体験	富岡地区「夏祭り～納涼のタベ」に参加し、日本の文化を体験する。教室以外の地域の人と話す。	宇野薫 3h(16:00～19:00)	伊藤朝子、 大石佳典 1.5h(17:30～19:00)、茂木眞佐代
13	平成29年8月24日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	18	私の趣味	趣味を言えるだけでなくその理由も言えるようになること。	青島純江、宇野薫、大石佳典、川添裕子、田中隆、前嶋義夫	岩城宣子、岡本寿巳令、加藤恵美、兼子桂司、永井秀和、中山修、茂木眞佐代、山下登志夫、リンチンメイ
14	平成29年8月31日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	14	豊田ふれあいフェスタ準備	ふれあいフェスタの準備を通して料理やゲームに関わる動作の言葉を得る。	宇野薫、川添裕子、田中隆、前嶋義夫、吉田洋子	伊藤ゆかり、岩城宣子、大石佳典、兼子桂司、谷山伸子、中山修、茂木眞佐代、リンチンメイ
15	平成29年9月7日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	17	豊田ふれあいフェスタ準備	出展に向け役割を持ち、一緒に考え、計画を立てる。	青島純江、宇野薫、加藤恵美、川添裕子、田中隆、前嶋義夫	青島佐希子、伊藤ゆかり、岩城宣子、大石佳典、永井秀和、中山修、中尾和可奈、茂木眞佐代、山下登志夫、リンチンメイ
16	平成29年9月14日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	21	名 札とポスターを作ろう(豊田ふれあいフェスタ準備)	意見を出し合い、協力して作成する。	青島純江、伊藤ゆかり、宇野薫、川添裕子、田中隆、前嶋義夫	青島佐希子、石脇賢、岩城宣子、大石佳典、加藤恵美、兼子桂司、中尾和可奈、中山修、茂木眞佐代、山下登志夫、リンチンメイ
17	平成29年9月21日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	23	豊田ふれあいフェスタの準備	協力しあって、国紹介パネルを完成させる。 料理・ゲームの流れ、役割分担、準備物の確認をする。	青島純江、宇野薫、川添裕子、田中隆、中尾和可奈、前嶋義夫、吉田洋子	青島佐希子、伊藤ゆかり、大石佳典、加藤清寿、中山修、茂木眞佐代、山下登志夫、リンチンメイ
18	平成29年9月24日 (日) 8:30～14:30	6	アミューズ豊田	8	豊田ふれあいフェスタ参加	自分達の作った自国の料理を“ふれあいフェスタ”で、自分達で販売することを通して、来場者に料理の説明やアピールをして教室外の地域の日本人とたくさん話す。自分の国の事をパネル説明しながら報せる。更に自分たちが学習している“豊田日本語教室”のことや受講生の自分たちのことを来場者に知ってもらう。スタンプラリーや、ゲームを通して参加者と簡単な言葉を自国語で紹介し地域の方々に親近感をもってもらう。	宇野薫 6h(8:30～14:30)、 川添裕子 6h(8:30～14:30)	伊藤ゆかり 5h(8:30～13:30)、岩城宣子 2.5h(8:30～11:00)、 大石佳典 5.5h(9:00～14:30)、加藤清寿 5.5h(9:00～14:30)、 加藤恵美 5h(8:30～13:30)、兼子桂司 4.5h(9:00～13:30)、白浜若菜 2.5h(8:30～11:00)、鈴木ゆみ 6.5h(8:00～14:30)、 中尾和可奈 6h(8:30～14:30)、中山修 5.5h(9:00～14:30)、茂木眞佐代 3h(8:30～11:30)

19	平成29年9月28日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	19	①仕事 ②豊田ふれあいフェスタのふりかえり	①仕事 ・自分の仕事について人に説明できるようになる。 ・仕事の嬉しいこと、楽しいこと、大変なこと、困ったことを話すことで感情表現の語彙を得たり、他の人の仕事について詳しく知る。 ②豊田ふれあいフェスタのふりかえり 今回のふれあいフェスタについて意見を出し合い、次回に活かす。	青島純江,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	伊藤ゆかり,大石佳典,加藤恵美,兼子桂司,中尾和可奈,中山修,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
20	平成29年10月5日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	23	テーマ(トピック)を決める	日本語教室に来た理由、自分ができるようになりたいことを言語化する。出てきた意見を参考に12月末までの毎回のテーマを決める。	宇野薫,川添裕子,鈴木ゆみ,田中隆,前嶋義夫	伊藤ゆかり,岩城宣子,大石佳典,加藤恵美,兼子桂司,永井秀和,中尾和可奈,中山修,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
21	平成29年10月12日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	19	私の国の文化	出身国の文化について話し、互いの文化を理解しあう。	宇野薫,大石佳典,川添裕子,田中隆,前嶋義夫	青島佐希子,伊藤ゆかり,岩城宣子,加藤恵美,兼子桂司,鈴木ゆみ,中尾和可奈,中山修,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
22	平成29年10月19日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	13	仕事	仕事に関する対話を通し、今後の仕事に活かす。	宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,青島純江,伊藤ゆかり,大石佳典,谷山伸子,中山修,リンチンメイ
23	平成29年11月2日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	12	買い物	・食品表示から必要な情報を読みとれるようになる。 ・情報交換を行い、食の安全性について考える。	宇野薫,川添裕子,中尾和可奈,前嶋義夫	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳典,兼子桂司,中山修,茂木眞佐代,リンチンメイ
24	平成29年11月9日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	19	病院	・日本における病院のかかり方について理解する。 ・インフルエンザの予防について対策を考える。	青島純江,宇野薫,大石佳典,川添裕子,田中隆,前嶋義夫	伊藤ゆかり,加藤恵美,兼子桂司,中山修,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
25	平成29年11月16日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	22	防災	自分の避難所を知る。地震の時に身を守る方法や自分に必要な情報を得る。自分に必要な非常持出品を考える。	青島純江,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,加藤清寿,加藤恵美,兼子桂司,谷山伸子,永井秀和,中尾和可奈,中山修,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
26	平成29年11月30日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	20	旅行	行きたい場所やおすすめの場所を話し、その場所についての情報を得る。	青島純江,宇野薫,加藤恵美,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	伊藤ゆかり,大石佳典,兼子桂司,中山修,茂木眞佐代,山下登志夫,リンチンメイ
27	平成29年12月7日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	17	①趣味・特技 ②忘年パーティーの出し物について	①自分の好きなことや得意なことについて相手に伝えられるようになる。 ②参加者の趣味・特技を参考に、得意なことを活かせるプログラムを考える。	青島純江,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫	伊藤ゆかり,加藤恵美,永井秀和,中尾和可奈,中山修

28	平成29年12月14日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	21	①「私の健康法」 ②「忘年パーティー の出し物について」	①自分が健康のために気をつけていることを伝えられるようになる。健康についての意識を高める。 ②当日実施できるように出し物の内容について話し合う。	宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,伊藤ゆかり,加藤恵美,鈴木ゆみ,永井秀和,中尾和可奈,中山修,松浦達也(見学),茂木眞佐代,山下登志夫
29	平成29年12月21日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	29	忘年パーティー	受講者とボランティアとみんなで親交を深め、一体感を持ってもらう。 パーティーで積極的に出演してもらい自信をつけてもらう。 授業の中で“忘年パーティー”プログラム内容を話し合う時間をとり、計画から当日の実施まで“自分達が携わった”という達成感を持ってもらう。 子供クラスは、皆で紙芝居を製作し、さらにそれをパーティーで発表するという作業を通じてお互いが協力することの大切さを感じると共に達成感を持ってもらう。	宇野薫,川添裕子,茂木眞佐代	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳典,加藤恵美,兼子桂司,鈴木ゆみ,中尾和可奈,前嶋義夫,吉田洋子
30	平成30年1月11日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	9	テーマ決め	日本語教室にきてからの変化をふりかえって自覚する。また、これからやってみようこと、できるようになるといいことを考えて、今後の目標とする。	宇野薫,川添裕子,前嶋義夫	大石佳典,加藤恵美,田中隆,中山修,茂木眞佐代
31	平成30年1月18日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	10	買い物	自身の買い物について話し、情報を伝えたり得たりする。	宇野薫,加藤恵美,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,関宏明,中尾和可奈,平野剛
32	平成30年1月25日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	14	病院	総合病院と病院・診療所の連携の説明を聞いて病院・診療所の重要性を理解する。自宅近くの病院・診療所の位置や専門科を地図で確認して病気の時に役立たせる。	宇野薫,大石佳典,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	伊藤ゆかり,加藤恵美,榎松千明,関宏明,内藤金夫,中尾和可奈,平野剛,茂木眞佐代,山下登志夫
33	平成30年2月1日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	14	税金・医療費控除	日本の税金にまつわる言葉を知り、自分の国の税金についても人に説明できるようになる。(確定申告の)医療費控除について知る。	伊藤ゆかり,宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫	青島佐希子,大石佳典,加藤恵美,中尾和可奈,平野剛,茂木眞佐代,山下登志夫
34	平成30年2月8日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	17	救急	①救急車や消防車の呼び方を知る。 ②通報時に必要な日本語を知る。	宇野薫,川添裕子,田中隆,中尾和可奈,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,加藤恵美,榎松千明,平野剛,山下登志夫,【協力機関…中東遠消防指令センター】
35	平成30年2月15日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	15	事故にあったら	事故にあった時に備えて、しなくてはいけないこと、対処法を知る。自分の経験を相手に伝えるように順序立てて話すことができる。	宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳典,平野剛,茂木眞佐代,山下登志夫

36	平成30年3月1日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	19	防災	災害に備え、非常持ち出し袋や防災用品について考える。地域の情報を得るためのいわたホットラインの登録をする。	宇野薫,加藤恵美,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	伊藤ゆかり,永井秀和,平野剛,茂木真佐代,山下登志夫
37	平成30年3月8日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	8	乗り物	自分がよく使う乗り物や乗ったことがない乗り物について話すことで、頻度の言い方を知ったり、乗ったことのない乗り物の乗り方を知る。また、乗換案内を活用し時間や行き方を調べたりお得なサービスを知るなどして、乗り物をうまく利用できることになる。	宇野薫,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,平野剛,茂木真佐代,山下登志夫
38	平成30年3月15日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市 豊田支所	14	手紙・荷物を送る	母国と日本における住所表記の違いを理解し国内外へ手紙や荷物を送ることができるようになる。転居届や不在通知書の処理の必要性を理解する。	青島澄江,宇野薫,大石佳典,川添裕子,田中隆,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,岡本千佳子,加藤恵美,榎松千明,永井秀和,平野剛,楊静芳,茂木真佐代,山下登志夫
実施内容【西貝教室】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名 斜体・太字:謝金有	補助者名 斜体・太字:謝金有
1	平成29年5月21日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	17	私の生活	自分の生活という、身近な話題を共有することで、発話の機会を増やす。また、教室参加者同士がお互いが教室外で何をしているのか、理解する。	大場睦子,加藤潤子,鈴木加代子,森西草子,山田紀子	青野天悠,石橋広子,一色尤異,大竹紀子,仲田明子
2	平成29年5月28日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	18	肉の料理	鶏肉,豚肉,牛肉の部位名を知る。料理法の表現を知る。好きな肉料理を部位名と料理法を使って言う。	大竹紀子,大場睦子,鈴木加代子,楠田登志代,森西草子,山田紀子	牛丸航,石橋広子,加藤潤子
3	平成29年6月4日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	22	ふるさとについて教えてください	・どこに住んでいたか、過去をつたえる。 ・〇〇したいと想像して話してみる。	大竹紀子,大場睦子,岡澤森子,鈴木加代子,楠田登志代,仲田明子,森西草子,山田紀子	石橋広子
4	平成29年6月11日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	24	バーベキュー準備会の前の話し合い	来週、バーベキュー大会の話し合いが、他の教室や交流部員も参加して行われるので、西貝教室として、去年の反省を含めて、来週、どんな内容の話し合いをするかを、途中から男性グループと女性グループにわかれて話し合った。	大竹紀子,大場睦子,岡澤森子,鈴木加代子,楠田登志代,仲田明子,森西草子,山田紀子	石橋広子,一色尤異
5	平成29年6月18日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	20	BBQ準備会	全員で協力してだいたいの内容をきめる。BBQの日時,時間,参加費,ICE加入の紹介などの説明後に、3組にわかれて協議。	大場睦子,鈴木加代子,加藤潤子,森西草子,山田紀子	石橋広子,一色尤異,大竹紀子,加藤清寿,中尾和可奈,永岡繁,仲田明子,増田美代子,八木光枝
6	平成29年6月25日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	12	こんな日本におどろいた!	来日した時のことを振り返って、日本の生活が長い人も浅い人も会話を通して日本について改めて考える。	大場睦子,鈴木加代子,楠田登志代,森西草子,山田紀子	石橋広子,一色尤異,大竹紀子,仲田明子
7	平成29年7月2日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	10	BBQ準備会	3組にわかれて協議 食べ物の検討 会場運営の検討 各組の決定内容の報告	大場睦子,鈴木加代子,仲田明子,山田紀子	石橋広子,一色尤異,加藤清寿,中尾和可奈,永岡繁,永岡春美,増田美代子,村岡ジョルジ,八木光枝,山田祐美

8	平成29年7月9日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	17	家族	家族の呼び方を自分の家族と自分の家族以外の家族と区別して言える。適切な家族の呼び方を使って家族構成と家族の一人を紹介できる。人の特徴を言うとき使う形容詞や「が得意です」「が好きです」などの言い方を知る。	大竹紀子,大場睦子,鈴木加代子,森西草子,山田紀子	一色尤異,加藤潤子
9	平成29年7月16日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	17	これって日本だけ？	①協会会報誌のトピックを読みわかりやすく説明する。 ②日本と母国と比べ変わっていると思う仕草や日本人が行うジェスチャーでわからないことを話す。	大場睦子,楠田登志代,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	一色尤異
10	平成29年7月23日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	17	BBQ準備会	BBQの具体的な内容を決定する。 ・焼き関係の全般について ・肉以外の食べ物の検討 ・会場運営の検討 富士登山のオリエンテーションで登山の心構えをする。	大場睦子,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	石橋広子,一色尤異,加藤潤子,楠田登志代,加藤清寿,中尾和可奈,永岡繁,増田美代子,松本洋行,村岡ジョルジ
11	平成29年8月27日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	13	文化祭参加の計画	①BBQの反省 ②文化祭について意見を出し合う	大場睦子,岡澤森子,加藤潤子,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	大竹紀子,楠田登志代
12	平成29年9月3日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	14	夏休みに何をしましたか？どこへいきましたか？	夏休みを振り返り報告し合う。お互いの過ごし方を紹介しあうことで情報を得る。	大場睦子,岡澤森子,楠田登志代,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	石橋広子,一色尤異,加藤潤子
13	平成29年9月10日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	16	わたしの今年の夏をお話します	今年の夏をどう過ごしたかみんなの前で発表する。話題を決める。要点を書く。「何を」「どうしたか」「どんなであったか感想」を意識してまとめる。グループの中でお互いの発表を聞きあい共有する。質問する。	大竹紀子,大場睦子,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	石橋広子,加藤潤子
14	平成29年9月24日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	17	文化祭の準備	文化祭日本語スピーチの内容を検討する。他の人のスピーチを聞いて感想をのべる。	大竹紀子,大場睦子,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	浅井りさ,石橋広子,加藤潤子,亀井直樹
15	平成29年10月1日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	12	文化祭の準備	グループで対話しながら、文化祭日本語スピーチの内容を考える。ソーランダンスの曲を聞く。	大竹紀子,大場睦子,鈴木加代子,楠田登志代,森西草子,山田紀子	石橋広子,一色尤異,加藤潤子,中山修
16	平成29年10月15日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	13	文化祭の準備	国ごとにわかれてスピーチの内容を話し合って決定する。	大場睦子,鈴木加代子,楠田登志代,森西草子,山田紀子	加藤潤子
17	平成29年10月22日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	16	文化祭の準備	①それぞれの国にわかれて詳しい内容を話し合い、原稿を作る。 ②当日スケジュール表を読んで理解する。	大場睦子,森西草子,山田紀子	石橋広子,大竹紀子,加藤潤子,楠田登志代,鈴木加代子,仲田明子,中山修
18	平成29年10月29日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	18	文化祭の準備	①国ごとにわかれてスピーチの内容を仕上げる。 ②発表練習	大場睦子,森西草子,山田紀子	石橋広子,加藤潤子,楠田登志代,鈴木加代子,仲田明子

19	平成29年11月5日 (日) 8:00～14:00	6	西貝交流センター	24	西貝交流センター文化祭に参加	模擬店食材準備開始 9:00 販売開始(中国ジャンボ餃子、ペルーケーキ、エンパナダ、プリン、クッキー)。メンバー交代をして、会場の催しに参加したり、舞台の見学したり、地域の人たちと会話して、活発に交流。 11:00 体育館に移動 11:22 舞台発表(日本語でスピーチ)	大場睦子 6h(8:00～14:00)	一色尤異 6h(8:00～14:00)、石橋 広子6h(8:00～14:00)、伊 藤ひろし 6h(8:00～14:00)、 大石 佳典3h(9:00～12:00) 、大 竹紀子 6h(8:00～14:00)、加藤 潤子6h(8:00～14:00)、 川 添裕子 2.5h(8:30～11:00) 、楠田 登志代 6h(8:00～14:00)、 鈴木 加代子 6h(8:00～14:00) 、 鈴木 ゆみ 2h(10:00～12:00) 、仲田 明子6h(8:00～14:00)、 森 西尊子 6h(8:00～14:00) 、 山田 紀子6h(8:00～14:00)
20	平成29年11月12日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	11	①磐田ホットラインの説明 ②文化祭の反省	①説明を聞き、磐田市のホットラインに登録 ②文化祭で地域の人と交流したことなど、感想を話す。	大場睦子、鈴木 加代子、森西尊子、山田紀子、 中里キヨミ(磐田 市地域づくり 応援課)	石橋広子、大 竹紀子、加藤 潤子、楠田登 志代、中山修
21	平成29年11月19日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	15	誕生日	・自分の誕生日を日本語で言える。 ・どのように祝うかを伝え合う。 ・プレゼントを買う店の情報を知る。	大石徳治(実 習)、 大場睦子、 鈴木克信(実 習)、 山田紀子	石橋広子、大 竹紀子、川添 裕子、 鈴木加 代子 、楠田登 志代、仲田明 子、山田祐美
22	平成29年11月26日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	13	仕事	現在の仕事と過去の仕事、これから やりたい仕事について話すことを通し て、相互理解を深めると共に、発話の 機会を増やす。	大竹紀子、 大場 睦子 、加藤潤 子、 森西尊子、 山田紀子	石橋広子、西 浦巨幸
23	平成29年12月3日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	14	あなたの2017年(はど んな年でしたか	1年の思いを(良いこと、残念なことな ど)振り返り話す。	大竹紀子、 大場 睦子 、楠田登 志代、 鈴木加代 子 、 仲田明子、森 西尊子、山田紀 子	中山修
24	平成29年12月10日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	9	あげます・もらいます	日本の贈答文化を知る。 どんな時、誰に、なにをもらったか、ど んな時、誰に、なにをあげたか言え る。 自分の国の贈答文化を紹介できる。	大場睦子、鈴木 加代子、森西尊 子、山田紀子	一色尤異、石 橋広子、大竹 紀子、楠田登 志代、仲田明 子
25	平成29年12月17日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	20	クリスマスパー ティー	ゲームのルールの説明と理解 日本の遊び(福笑い、坊主めくり) 懇談	大場睦子 、加藤 潤子、楠田登 志代、 鈴木加代 子、森西尊子、 山田紀子	一色尤異、石 橋広子、大竹 紀子、仲田明 子、中山修
26	平成30年1月7日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	12	年末年始はどう過 しましたか？	・日本伝統のしきたりや食べ物を知 る。 ・国によっての新年の過ごし方や特別 な日に食べるものを共有する。	大場睦子 、加藤 潤子、楠田登 志代、 鈴木加代 子、森西尊子、 山田紀子	石橋広子、大 竹紀子
27	平成30年1月14日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	14	携帯電話、アイフォ ン	よく使うアプリやおすすめのアプリを 紹介し合う。 SNSは使っているか、何を使っている か紹介し合う。 携帯の使い方や気を付けていることを 話し合う。	大場睦子 、加藤 潤子、 鈴木加代 子、仲田明子、 森西尊子、山田 紀子	一色尤異、石 橋広子、大竹 紀子、楠田登 志代

28	平成30年1月21日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	21	旅行	旅行した体験を話す。 他の人の話を聞いて情報を得る。	大竹紀子,大場睦子,加藤潤子,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	山田祐美
29	平成30年2月4日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	13	節分	日本の古い風習を学んで、自国の風習を紹介	大場睦子,加藤潤子,鈴木加代子,仲田明子,森西草子	石橋広子,大竹紀子,山田祐美
30	平成30年2月18日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	12	私の一日	・自分の一日を、時間軸にして振り返りみんなに発表する。 ・行ったことは過去形にして話す。	大場睦子,楠田登志代,鈴木加代子,森西草子,山田紀子	石橋広子
31	平成30年2月25日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	11	わたしの国の、衣、食、住	自国の生活文化を伝える。 他の人の生活文化を理解する。	加藤潤子,鈴木加代子,楠田登志代,森西草子	石橋広子,大竹紀子,鈴木ゆみ,山田紀子
32	平成30年3月4日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	7	どこで買い物をしますか	いつもどこで買い物や外食をするか言える。 どうしてその店がいいのか言える。 地図を見て店の場所を確認し情報を共有する。	加藤潤子,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	石橋広子,大竹紀子
33	平成30年3月11日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	8	友達を紹介します	友達について、どんな人か言える。 いつのころからの友達か言える 友達とどんなことをしたか、思い出を話すことができる。	大場睦子,鈴木加代子,仲田明子,森西草子,山田紀子	石橋広子,一色尤異,大竹紀子,楠田登志代
34	平成30年3月18日 (日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	10	ありがとうをつたえよう	感謝の伝え方を学習。「ありがとう」の言葉をだれにどのように伝えるか補助者に手伝ってもらいながら文章にして発表。	鈴木加代子,加藤潤子,仲田明子,森西草子,山田紀子	石橋広子,一色尤異,大竹紀子,楠田登志代

実施内容【竜洋教室】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名 斜体・太字:謝金有	補助者名 斜体・太字:謝金有
1	平成29年5月21日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	10	テーマを考えよう	各自Can-do statementsをやり、自分の「できる」、「できない」を確認する。 生活していてできなかったこと(困ったこと)について話す。 その中から今後のテーマを考える。	伊藤ゆかり	加藤恵美, 永井秀和, 山田典嗣
2	平成29年6月4日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	0		(受講者なし)	伊藤ゆかり	加藤清寿
3	平成29年6月11日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	3	竜洋交流センターの夏祭りに参加しよう	夏祭りの参加に向け、話し合う。	伊藤ゆかり,加藤恵美	永井秀和, 藤田純子
4	平成29年6月18日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	1	夏まつりの計画をしよう	出し物について話し合う。自分の役割について考える。	伊藤ゆかり	大石佳典, 加藤恵美, 藤田純子
5	平成29年6月25日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	0		(受講者なし)	伊藤ゆかり	藤田純子
6	平成29年7月2日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	0		(受講者なし)	伊藤ゆかり	山田典嗣

7	平成29年7月9日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	8	①自己紹介 ②夏まつりの計画をしよう	①自分のことを話し、お互いの理解を深める。 自分のことについて人に話す時の言い方を覚える。 ②出し物について話し合う。自分の役割について考える。	伊藤ゆかり	大石佳典, 加藤恵美, 永井秀和, 根津敏之
8	平成29年7月23日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	6	夏まつりの計画をしよう	出し物(ゲーム)を決める。その後、使用する物の準備をする。	伊藤ゆかり	加藤恵美, 鈴木ゆみ, 根津敏之, 村岡ジョルジ
9	平成29年8月6日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	9	竜洋交流センター夏祭りの準備	夏祭り出展のための準備を協力して行う。	伊藤ゆかり, 加藤恵美, 藤田純子	鈴木ゆみ, 永井秀和, 根津敏之
10	平成29年8月20日 (日) 9:00～14:30	5.5	竜洋交流センター	5	竜洋交流センターの夏まつりに参加しよう	自分の役割をみつけて射的, コーヒー販売を手伝う。 参加者・来場者と交流する。	伊藤ゆかり 5.5h(9:00～14:30)	加藤清寿, 加藤恵美 5.5h(9:00～14:30), 根津敏之
11	平成29年8月27日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	8	①竜洋交流センターの夏まつりに参加しよう～ふりかえり ②病院	①皆の前で感想を話す。皆の感想を聞いて, 共感したり, 自分との違いを知ったりする。参加しなかった人は様子を知る。 ②自分の受診の体験談を話す。情報を共有する。 「健康保険証」「問診票」「診察」などの言葉や病名を覚える。	伊藤ゆかり	加藤恵美, 永井秀和, 根津敏之, 藤田純子
12	平成29年9月3日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	3	最近困ったこと	最近困ったことを話す。周りの人は質問をしたり, 解決策があればアドバイスをしたりする。	伊藤ゆかり	永井秀和, 根津敏之, 藤田純子
13	平成29年9月10日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	11	私のふるさと	出身地, 子供の頃に住んでいた場所について話す。話しやすい内容で発言を促す, 他の人に伝える, そのための語彙を増やす。	伊藤ゆかり, 加藤恵美, 藤田純子	なし
14	平成29年9月24日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	7	日本でびっくりしたこと	国ごとの気候, 文化, 考え方の違いを知り, 生活で使う言葉や特別な語彙を学ぶ。	伊藤ゆかり	加藤恵美, 永井秀和, 根津敏之
15	平成29年10月1日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	6	仕事を始める時(就職)の面接	就職の面接を想定した設問の知識を得る, またその回答を考える。	伊藤ゆかり, 加藤恵美	永井秀和, 根津敏之
16	平成29年10月15日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	2	電車, バスの乗り方	電車, バスの乗り方を理解し, 利用につなげる。	伊藤ゆかり	藤田純子
17	平成29年10月22日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	5	自己紹介	自分のことを話し、お互いの理解を深める。 自分のことについて人に話す時の言い方を覚える。	伊藤ゆかり	加藤恵美, 川添裕子
18	平成29年10月29日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	6	自国の料理	出身地の代表的な料理について話す。自分の国の料理との共通点・相違点を考えることにより, お互いの国の料理文化を理解する。	伊藤ゆかり	大石佳典, 川添裕子, 根津敏之, 藤田純子
19	平成29年11月12日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	9	旅行	旅行で行きたい所を話す。他の人の話を聞き, 情報を得る。 旅行手段の乗り物について知る。行き方を考える。	伊藤ゆかり	西川恵子, 西川岳彦, 藤田純子

20	平成29年11月19日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	4	防災	避難所を知る。地震が起こった時の行動について学ぶ。	伊藤ゆかり, 加藤恵美	岡本千佳子, 川村始伸 0.5h(15:30～16:00), 西川恵子, 西川岳彦
21	平成29年11月26日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	6	行きたいところ、行ってよかったところ	今日得た情報を他の人に伝えられるようになる。自分の行ってよかったところを人に伝えられるようになる。	伊藤ゆかり, 内山恵理子(実習), 杉村恵理子(実習), 西堀浩子(実習), 袴田千里(実習)	川添裕子, 永井秀和, 西川恵子, 西川岳彦
22	平成29年12月3日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	8	買い物	買い物についての情報交換や欲しいものについてその理由も伝えることができるようにする。	伊藤ゆかり, 加藤恵美	岡本千佳子, 西川恵子, 藤田純子
23	平成29年12月10日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	9	①防災訓練のふりかえり ②料理交流会の料理を考えよう	①不参加の人は防災訓練の様子を知る。参加の人はふりかえって感想を発表する。 自分の避難所を確認する。 ②料理交流会の内容を理解してどんな料理を作ると良いか考える。 意見を出し合い相談して料理を決める。	伊藤ゆかり	加藤恵美, 西川恵子, 藤田純子
24	平成29年12月17日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	8	お正月	日本のお正月について知る。自国のお正月について話す。 日本のお正月との共通点・相違点を考え日本の文化を理解する。	伊藤ゆかり	藤田純子
25	平成30年1月14日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	4	①どんな冬休みだった？ ②磐田の名所に行こう(計画)	①冬休みについて話す。他の人の話を聞いて質問し合ったり、情報を得たりする。 ②参加するかを考え、行程について自分の考えを言う。	伊藤ゆかり	加藤恵美, 西川恵子, 西川岳彦, 藤田純子
26	平成30年1月21日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	3	料理交流会について	料理交流会のメニューを決める。	加藤恵美	西川恵子, 西川岳彦, 川村始伸 0.5h(14:00～14:30)
27	平成30年1月28日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	4	料理交流会の準備をしよう	参加者募集の「チラシ」の意味と掲載内容を理解して、オリジナルのチラシを作成する。	伊藤ゆかり	加藤恵美, 西川恵子, 西川岳彦
28	平成30年2月4日 (日) 9:30～16:00	5.5	今之浦市有地(雪まつり会場) 見付天神社	6	磐田の名所に出かけよう	ゆきまつりのイベントに参加する。磐田の名所について知る。日本の文化を体験したり、理解したりする。	伊藤ゆかり 5.5h(9:30～16:00 昼1h除外)	岡本千佳子 2.5h(13:00～15:45), 大石佳典 3h(12:30～15:45), 加藤恵美 5.5h(9:30～16:00 昼1h除外)
29	平成30年2月18日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	4	料理交流会の準備をしよう	料理を決定する。料理交流会の目的、内容を理解して、自分の役割を考える。	伊藤ゆかり	大石佳典, 岡本千佳子, 加藤恵美, 西川恵子, 藤田純子
30	平成30年2月25日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	8	地域の文化・名所を知ろう!	前々回磐田市の文化・名所を体験したことを受けて今回は近隣市町の文化や名所を知ることにより次の行動型体験活動につなげる。	伊藤ゆかり, 大石佳典	岡本千佳子, 川添裕子 1h(15:00～16:00), 藤田純子

31	平成30年3月4日 (日) 9:00～16:30	6.5	竜洋交流センター	9	①料理交流会の食材の買い出しと準備をしよう ②料理交流会	①買いたい食材を買うことができる。自分の役割を理解し、互いに協力して行動する。 ②料理作りの指示ができる。指示に従って料理作りができる。参加者同士交流する	伊藤ゆかり 6.5h(9:00～16:30屋1h除外)	加藤恵美 6.5h(9:00～16:30屋1h除外), 西川恵子5.5h(10:00～16:30屋1h除外), 西川岳彦3.5h(13:00～16:30), 藤田純子6.5h(9:00～16:30屋1h除外)
32	平成30年3月11日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	11	自己紹介	自分のことを話す、相手に自分のことを知ってもらう話し方を学ぶ。	加藤恵美	大石佳典, 藤田純子
33	平成30年3月18日 (日) 9:30～16:00	5.5	竜洋交流センター集合 鈴木いちご農園 油山寺 ハンバーグレストランさわやか	14	市外へ出かけよう～ “静岡”を体験	静岡ならではの文化を体験する。 いちご狩り 油山寺参拝 レストラン体験(メニューの見方・注文の仕方)	伊藤ゆかり 5.5h(9:30～16:00屋1h除外)	大石佳典 2.5h(9:30～12:00), 岡本千佳子5h(10:00～16:00屋1h除外), 加藤清寿5.5h(9:30～16:00屋1h除外), 加藤恵美5.5h(9:30～16:00屋1h除外), 山崎大輔5.5h(9:30～16:00屋1h除外)

実施内容【ワークピア教室】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名 斜体・太字: 謝金有	補助者名 斜体・太字: 謝金有
1	平成29年5月21日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	53	①日本でおすすめの場所、もの ②ひとつきあい	①学習者が良く行く場所などをお互いに共有し、より良い日本生活に役立てることができる身近なテーマで発話を促す。 ②人付き合いを知る。 あいさつ、会社・日本語教室をお休み、遅刻する言い方を知る。 ラジオ体操を知る。	足立進一郎, 大村新一郎, 岡野知子, 小山梨沙, 茂木昭次, 海山綾子	氏原初美, 大石佳典, 加藤厚美, 金井真由美, 兼子桂司, 川添裕子, 佐川友季子, 澤田和歌子, 鈴木ゆみ, 内藤金夫, 向井パッチャリン, 渡辺セリオ
2	平成29年5月28日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	35	①趣味 ②防災	①以前自分の国にいる時の趣味、現在の趣味、将来やってみみたい趣味などを話題として、対話をし、それを皆に伝える。 ②Ⅰ. 自分の避難所を知る Ⅱ. 非常持出袋に入れるものを考える Ⅲ. 地震の時の身の守り方の知識を得る Ⅳ. 津波のサイレンの意味を知る	伊藤眞智子, 大村新一郎, 川添裕子, 岸本洋充, 中尾和可奈, 茂木昭次, 海山綾子	大石佳典, 加藤厚美, 兼子桂司, 澤田和歌子, 鈴木ゆみ, 内藤金夫, 村上ナオキ, 山中花乃, 李華夏
3	平成29年6月4日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	33	①しゅうかん・ぶんか ②Ⅰ. バスに乗ろう Ⅱ. 磐田市立総合病院のコンサートに行こう	①各国の習慣や文化を知ることにより相互理解を深める。 ②Ⅰ. バスに乗って目的地へ行くことができる Ⅱ. 磐田市立総合病院の場所を知る	足立進一郎, 伊藤眞智子, 大石佳典, 大村新一郎, 岸本洋充, 中尾和可奈, 海山綾子	伊藤慎弥, 氏原初美, 岡野知子, 桂山レオナルド, 兼子桂司, 川添裕子, 小山梨沙, 鈴木ゆみ, 内藤金夫, 茂木昭次

4	平成29年6月18日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	25	①しごと ②くすり	①今の仕事、子供の頃なりたかった職業、未来の仕事について、聞いたり話したりして、相互理解を深める。 ②Ⅰ. 適切な薬を手に入れるようになる。Ⅱ. 正しく薬を使えるようになる。(間違いなく使える。)	足立進一郎,大村新一郎,岡野知子,岸本洋充,澤田和歌子,中尾和可奈 0.5h(14:00～14:30),茂木昭次,海山綾子	伊藤慎弥, 氏原初美, 金井真由美, 川添裕子, 小山梨沙, 鈴木ゆみ, 袴田千里, 山中花乃
5	平成29年6月25日 (日) 14:00～16:00	2	①ワークピア磐田 ②磐田消防署	23	①七夕 ②救急	①対話と体験を通して日本の文化の理解を深める。 ②Ⅰ. 緊急時の通報に必要な日本語を知るⅡ. 心肺蘇生法を身につける。	足立進一郎,伊藤眞智子,大村新一郎,川添裕子,小山梨沙,中尾和可奈,茂木昭次,木村淑恵 (磐田市女性防災クラブ会長)【磐田市消防署より】長門忠,神村義光,小寺健一	伊藤慎弥, 大石佳典, 岡野知子, 桂山レオナルド, 兼子桂司, 鈴木ゆみ, 富田玲, 内藤金夫, 袴田千里, 村上ナオキ(通訳) , 李夏華
6	平成29年7月2日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	16	①はんたいことば ②A:教育 B:ペット	①簡単な対義語の問題を解くことにより言葉の理解を深める。 ②テーマA:Ⅰ. 日本の教育制度を理解し, 子どもの教育設計に役立てる。Ⅱ. 学校の宿題について学び, 家庭で寄り添えるようにする。 テーマB: 日本でペットを飼う際に, ペットと飼い主お互いが幸せに暮らすための情報を得る。	足立進一郎,大石佳典,川添裕子,鈴木ゆみ,中尾和可奈 0.5h(14:00～14:30),茂木昭次,海山綾子,斉藤美智子 (磐田西小教諭),わんハート(久永公子,松下洋子)	氏原初美, 岡野知子, 岡本寿巳令, 金井真由美, 鈴木克信, 内藤金夫, 永山鮎子, 袴田千里(通訳), 村上ナオキ(通訳)
7	平成29年7月9日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	8	買い物	今現在の買い物事情を共有する。 買いたい物を買いたいに行けるようにする。	足立進一郎,岡野知子,中尾和可奈	川添 裕子, 袴田千里(通訳)
8	平成29年7月16日 (日) 14:00～16:00	2	①ワークピア磐田 ②キングマー ト→パロー, しまむら→杏林堂	23	①季節・気候 ②買い物に行く	①自分の国の季節・気候などを話題として対話し, それを皆に伝える。 ②学習者が買いたいものを会話しながら買う。 日本人もブラジル, フィリピン食材の店で美味しいものを紹介してもらう。	足立進一郎,伊藤眞智子,大村新一郎,岡野知子,岸本洋充,中尾和可奈,茂木昭次,海山綾子	氏原初美, 大石佳典, 荻野直紀, 金井真由美, 兼子桂司, 鈴木ゆみ, 内藤金夫, 袴田千里(通訳), 村上ナオキ(通訳)
9	平成29年7月23日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	23	磐田の歴史	寺や神社を見て, 磐田の歴史を感じる。	足立進一郎,伊藤眞智子,大村新一郎,茂木昭次,海山綾子	氏原初美, 大石佳典, 岸本洋充, 小山梨沙, 澤田和歌子
10	平成29年8月6日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	32	①行きたい所と乗り物 ②テーマをきめよう(8月～9月活動分)	①日本の乗り物の特徴を理解し, よりよく利用することができるようになる。 ②日本での生活における疑問, 関心を引き出し, 今後の教室活動のテーマとする。	足立進一郎,伊藤眞智子,大石佳典,大村新一郎,岸本洋充,中尾和可奈,茂木昭次,成瀬三代	氏原初美, 金井真由美, 岡野知子, 川添裕子(～14:30), 袴田千里(通訳), 村上ナオキ(通訳)
11	平成29年8月20日 (日) ①14:00～16:00 ②16:00～19:00(日本生活スタートクラス)	①2 ②3	①ワークピア磐田 ②富岡交流センター	27	①料理 ②夏まつり体験	①母国の料理を紹介しあうことで互いを知り, 理解を深める。 【裏テーマ】料理教室(12月)のリーダー探し&メニューさぐり ②富岡地区「夏祭り～納涼の夕べ」に参加し, 日本の文化を体験する。教室以外の地域の人と話す。	足立進一郎,伊藤眞智子,大村新一郎,川添裕子 3h(16:00～19:00),岸本洋充,澤田和歌子,茂木昭次	氏原初美, 岡野知子 3h(16:00～19:00) , 川添裕子 1.5h(14:00～15:30), 小山梨沙, 内藤金夫, 袴田千里(通訳), 李華夏
12	平成29年8月27日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	23	①夏休みに何をしましたか? ②〇〇人のここがなぜ???	①夏休みにしたことを話題として対話し, それを皆に伝える。 ②異文化理解促進。日本文化に対する疑問を解消し, 理解を深めることで, 納得して日本生活をおくれるようになる。	足立進一郎,市川久美,伊藤眞智子,大村新一郎,岸本洋充,鈴木ゆみ,茂木昭次,海山綾子	氏原初美, 大石佳典, 岡野知子, 川添裕子, 小山梨沙, 澤田和歌子, 内藤金夫, 袴田千里(通訳), 李華夏

13	平成29年9月3日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	24	①私の趣味 ②健康	①趣味を言えるだけでなくその理由も言えるようになること。 料理交流会につなげる提示により交流会の雰囲気作り。 ②ヨガを体験することにより、体の状態を確認する。 食生活からも健康に意識を持つ	足立進一郎,伊藤眞智子,大石佳典,大村新一郎,岡野知子,岸本洋充,高塚仁子(ヨガ講師),中尾和可奈,海山綾子	氏原初美,金井真由美,兼子桂司,神谷(ヨガ補助),澤田和歌子,鈴木陶也,鈴木ゆみ,内藤金夫,村上ナオキ(通訳),茂木昭次
14	平成29年9月10日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	32	①まつり ②日本語学習	①袋井北祭りを提示し、地域行事に参加するきっかけをつくる。 母国の祭りを紹介し合い、相互理解を深める。 ②日本語でどんなことができるようになりたいかを明確にし、日本語学習に関する情報交換をすることで、今後の学習に活かす。	足立進一郎,伊藤眞智子,氏原初美,大村新一郎,澤田和歌子,中尾和可奈,成瀬三代,茂木昭次,海山綾子	岡野知子,金井真由美,川添裕子,岸本洋充,鈴木ゆみ,内藤金夫,西堀浩子,袴田千里(通訳)
15	平成29年9月24日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	14	ゲーム	人気のゲームを紹介し、人気の理由とルールを説明する。	足立進一郎,伊藤眞智子,大村新一郎,岸本洋充,小山梨沙,茂木昭次	氏原初美,兼子桂司,内藤金夫,西堀浩子,李華夏
16	平成29年10月1日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	25	①思い出 ②注文	①各自が経験した印象的な思い出を皆に話し伝える。 ②Ⅰ. お店で使われる決まり文句を知り、希望通りの注文ができるようになる。Ⅱ. 注文の場面で困った経験を話し合い、どのように言えば自分の考えを伝えられるかを知る。	足立進一郎,伊藤眞智子,大村新一郎,川添裕子,岸本洋充,中尾和可奈,成瀬三代,茂木昭次,海山綾子	氏原初美,大石佳典,岡野知子,金井真由美,澤田和歌子,内藤金夫,永山鮎子,西堀浩子,袴田千里,李華夏
17	平成29年10月15日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	22	①わたしの一日 ②防災	①毎日すること、朝一番にすること、時間の使い方などを伝え合い相互理解する。また「一日フリーだったら何をしたいか」も考え、コミュニケーションをはかる。 ②Ⅰ. 災害に対する基本的な知識を身に付ける。Ⅱ. 災害に備える方法を確認する。	足立進一郎,大村新一郎,岸本洋充,澤田和歌子,子どもの健康と環境を考える会(鈴木弥栄子),中尾和可奈,茂木昭次,茂木眞佐代,海山綾子	氏原初美,岡野知子,小山梨沙,鈴木誠,田中琢間(通訳),内藤金夫,李華夏
18	平成29年11月5日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	29	①私の神様 ②テーマを決める	①宗教の違いによって起こる争いがある。知らないから恐怖がある。日本語の勉強をきっかけに夫々の宗教を知り理解し認め合う。 ②テーマを決める話し合いを通じて、受講者自身が意識していなかったニーズを意識化する。また、子ども手当てや子ども医療費、給与明細書の内容についての理解を確認する。	足立進一郎,伊藤眞智子,大石佳典,大村新一郎,川添裕子,岸本洋充,鈴木ゆみ,中尾和可奈,茂木昭次,海山綾子	氏原初美,岡野知子,金井真由美,兼子桂司,川本啓,内藤金夫,袴田千里,アリエル・ダカヤナン(アリエル)(通訳)
19	平成29年11月12日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	27	秋～日本語カリキュラム(44)余暇を楽しむ	日本の特徴である秋を楽しむきっかけを作る。	足立進一郎,市川久美,伊藤眞智子,大村新一郎,岸本洋充,澤田和歌子,茂木昭次,海山綾子	川本啓,内藤金夫,李華夏
20	平成29年11月19日 (日) 14:00～16:00	2	①ワークピア磐田 ②磐田市立中央図書館	27	①けっこん ②図書館	①各国の結婚を対話しながら、生活スタイルの違いを理解する。 ②図書館の利用方法を知り、本が借りられる様になる 図書館のイベントを疑似体験する(読み聞かせ)	足立進一郎,伊東直久(磐田市立中央図書館),伊藤眞智子,氏原初美,大村新一郎,岡野知子,岸本洋充,澤田和歌子,中尾和可奈,茂木昭次,海山綾子	大石佳典,小山梨沙,川本啓,李華夏,渡辺セリオ(通訳)
21	平成29年11月26日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	31	①料理 ②外国料理交流会の準備	①自分の出身国の美味しい料理とその作り方を皆に話し伝える。 ②外国料理交流会の計画を立てる。 料理の紹介文やレシピの作成を通じて、料理に関する語彙を増やす。	市川久美,伊藤眞智子,岸本洋充,中尾和可奈,茂木昭次,海山綾子	氏原初美,大石佳典,岡野知子,加藤厚美,川本啓,小山梨沙,鈴木ゆみ,内藤金夫,長谷川博子(新規),渡辺セリオ(通訳) 1h(15:00～16:00)

22	平成29年12月3日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	27	年末年始の過ごし方	各国の年末・年始の様子を紹介しよう。	足立進一郎,伊藤真智子,宇野冬美(実習),大塚りえ子(実習),太田富美子(実習),大橋直治(実習),茂木昭次,山田二葉(実習),海山綾子	渥美久美子,氏原初美,大石佳典,大村新一郎,加藤厚美,兼子桂司,川添裕子,川本啓,小山理沙,澤田和歌子,内藤金夫,西堀浩子
23	平成29年12月10日 (日)13:00～16:30	3.5	ワークピア磐田	28	外国料理交流会	4カ国の料理を作り, 楽しむ。 料理を食べながら, 一般市民の方も含め, 交流する。	足立進一郎 3.5h(13:00～16:30),伊藤真智子2h(14:00～16:00),大村新一郎 2h(14:00～16:00),澤田和歌子3.5h(13:00～16:30),茂木昭次2h(14:00～16:00),海山綾子2h(14:00～16:00)	大石佳典 3.5h(13:00～16:30),加藤厚美3.5h(13:00～16:30),川添裕子 3.5h(13:00～16:30),岸本洋充3.5h(13:00～16:30),小山梨沙 3.5h(13:00～16:30),内藤金夫3.5h(13:00～16:30),中尾和可奈 3.5h(13:00～16:30),袴田千里3.5h(13:00～16:30),李夏華3.5h(13:00～16:30)
24	平成29年12月17日 (日) ①14:00～16:00 ②14:00～16:30(日本生活スタートクラス)	①2 ②2.5	①ワークピア磐田 ②喫茶店「カフェクローバー」	31	①2017年を振り返って ②Ⅰ.栄養 Ⅱ.喫茶店で食事をする	①各々今年1年を振り返って自分の経験・思い出・感想を話し, 伝える。 ②Ⅰ.栄養バランスの良い食事の献立を立てることができる Ⅱ.お店で注文できるようになる	足立進一郎,渥美久美子,伊藤真智子,大村新一郎,岡野知子 2.5h(14:00～16:30),岸本洋充,鈴木美子(講師:NPO法人こどもの森),中尾和可奈 2.5h(14:00～16:30),茂木昭次,海山綾子	氏原初美, 大庭満美子, 加藤厚美, 兼子桂司, 川添裕子, 川本啓, 澤田和歌子, 鈴木ゆみ, 袴田千里(通訳), 長谷川博子
25	平成30年1月14日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	26	冬休み・お正月何をしましたか	冬休みの感想や体験を話し合いながらコミュニケーションをはかり, 相互理解を深める。	足立進一郎,渥美久美子,伊藤真智子,大村新一郎,澤田和歌子,中尾和可奈,茂木昭次,海山綾子	氏原初美, 加藤厚美, 川添裕子, 川本啓, 岸本洋充, 小山梨沙, 鈴木幹夫, 鈴木理世, 李華夏
26	平成30年1月21日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	33	①わたしたちの対話クラス ②ライフプラン	①対話クラスのテーマについて, 対話クラスをより良いものにするため, 皆で話し, 自分の考えを伝える。 ②さまざまなライフイベントにかかる費用とその備え方を知り, 自分のライフプランニングやその実現に役立てる。	相川アンジェラ(外部講師・磐田信用金庫),足立進一郎,市川久美,伊藤真智子,大村新一郎,岸本洋充,中尾和可奈,茂木昭次,海山綾子	大石佳典, 川本啓, 加藤厚美, 鈴木幹夫, 鈴木ゆみ, 竹山正人, 内藤金夫, 長谷川博子
27	平成30年1月28日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	31	磐田市内体験ツアーを企画しよう!	観光案内の写真や説明を参考にしながら, 行きたいところについて話し合う。	足立進一郎,渥美久美子,伊藤真智子,大石佳典,大村新一郎,岸本洋充,茂木昭次,海山綾子	氏原初美, 加藤厚美, 川添裕子, 鈴木幹夫, 中尾和可奈, 西堀浩子

28	平成30年2月4日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	31	①日本でおススメの場所・もの ②仕事	①日本で今までに行ったことがある良かったところ・ものについて話し、みんなに薦める。 ②派遣と正社員、働き方の違いによるメリットを知り、自分や家族の未来のためによりよい仕事・働き方を考える。	足立進一郎, 渥美久美子, 川添裕子, 岸本洋充, 中尾和可奈, 加山勤子 (外部講師・静岡県国際交流協会), 松本クラウディオ (外部講師・ゲストスピーカー)	氏原初美, 加藤厚美, 金谷直美 (通訳), 鈴木幹夫, 鈴木ゆみ, 土井汀花 (書道家・見学), 内藤金夫, 茂木昭次
29	平成30年2月18日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	19	地元の行事	地元である見付の行事を紹介するとともに、それぞれ住んでいる場所の楽しい行事について話をするための語彙を覚える。	足立進一郎, 大村新一郎, 岡本寿巳令, 加藤厚美, 茂木昭次, 海山綾子	氏原初美, 内藤金夫
30	平成30年2月25日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	17	ふゆのたべもの	冬のたべものについて対話しながら、日本やそれぞれの国の食文化を会話することで対話力を広げる。	足立進一郎, 渥美久美子, 伊藤真智子, 氏原初美, 大村新一郎, 岸本洋充, 海山綾子	川本啓, 澤田和歌子, 鈴木幹夫, 内藤金夫
31	平成30年3月4日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	36	①「ドキドキ・イライラ」くりかえしのことば ②病院 (磐田市立総合病院出前講座)	①ドキドキ、イライラした経験を伝え合いながら、コミュニケーションを深める。日本語の特徴ともいえるオノマトペに挑戦&使ってみよう。 ②磐田市立総合病院の利用方法や、医療費の仕組みを知る。病院でよく目にすることばを見て意味が分かるようになる。	足立進一郎, 渥美久美子, 伊藤真智子, 大村新一郎, 岸本洋充, 澤田和歌子, 中尾和可奈, 茂木昭次, 海山綾子 榛村智加枝 (磐田市立総合病院), 平野晴彦 (磐田市立総合病院)	氏原初美, 大橋直治, 加藤厚美, 川添裕子, 川本啓, 鈴木ゆみ, 立花・チアゴ・ミツオ, 熊切峰男 (磐田市立総合病院), 吉筋達也 (磐田市立総合病院), ロドリゲス・チエミ (磐田市立総合病院・通訳), 金谷直美 (通訳), 袴田千里 (通訳)
32	平成30年3月18日 (日) 14:00～16:00	2	ワークピア磐田	23	①お花見 ②自己紹介, テーマを決める	①近隣の花見スポットや宴会等の楽しみを進行役がプレゼンした後、話し合った。 ②名前, 住んでいる所, 出身地, 好きなことが言えるようになる。日本語ができなくて困っていること, 学びたいことについて話し合う。	足立進一郎, 氏原初美, 大村新一郎, 岸本洋充, 中尾和可奈, 茂木昭次, 海山綾子	渥美久美子, 内山恵理子, 川添裕子, 杉村恵理子, 鈴木幹夫, 立花チアゴ・ミツオ, 内藤金夫, 西堀浩子

(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【ワークピア教室 第6回 平成29年7月2日 日本生活スタートクラス】

＜テーマとねらい＞ ※学習者の中に、子どものいる人と子どもはいないがペットに関心がある人がいたため、テーマを2本立てにした。

A:教育 ①日本の教育制度を理解し、子どもの教育設計に役立てる。②学校の宿題について学び、家庭で寄り添えるようにする。

B:ペット ①日本でペットを飼う際に、ペットと飼い主お互いが幸せに暮らすための情報を得る

＜外部講師＞

A:教育 齊藤美智子(外国人児童担当小学校教諭)

B:ペット 久永公子(動物愛護市民団体代表)

＜使用教材＞

A:文部科学省『お子さんを持つ保護者の皆さまへ』『就学ガイドブック』(ポルトガル語、タガログ語)、本よみカード、計算カード(足し算、引き算、掛け算、割り算)、小学1年生教科書(さんすう、こくご)

B:「犬の飼い主が必ず行わなければならないこと(市からのポルトガル語の通知)」、磐田市発行のリーフレット「愛犬と楽しく生活するために」、提示用写真、「ジョンを探せ」パネル、鑑札、マイクロチップとセンサー、絵本「犬と私の10の約束」、模造紙、ブロック、ふせん

＜活動内容＞

1) あいさつ、自己紹介

2) ゲーム「全身じゃんけん」

3) テーマの選択

4) A①日本の教育制度の説明

②本読みカード・計算カードの説明

③日本語で計算カードに挑戦

B①対話「これまで飼ったことのあるペット、今飼っているペット」と質疑応答

②ペットを飼うときに知っていてほしいこと(わんハートさんより)

・導入 ゲーム「ジョンを探せ」

・犬猫の殺処分について

・犬の寿命と自分が帰国する場合どうするか

・ワクチン接種

・鑑札、マイクロチップについて

③絵本読み聞かせ「犬と私の10の約束」

5) ふりかえりシート記入

6) お知らせ



○取組事例②

【ワークピア教室 第28回 平成30年2月4日 日本生活スタートクラス】

＜テーマとねらい＞

仕事 派遣と正社員、働き方の違いによるメリットを知り、自分や家族の未来のためによりよい仕事・働き方を考える。

＜外部講師＞

加山勤子(静岡県国際交流協会)、松本クラウドディオ(ブラジル人 市内企業正社員)

＜使用教材＞

自作ワークシート、「正社員で仕事をしませんか？」チラシ(日本語版、ポルトガル語版)、マグネット、ふせん、ブロック

＜活動内容＞

1) 挨拶、自己紹介

2) ゲーム「後出しじゃんけん」

3) 提示「今の仕事」

今の仕事を選んだ理由や働く中で感じることをワークシートの書き方とともに提示

4) ワークシート記入

各自ワークシートを埋め、補助者と話しながらキーワードを日本語で書いてもらう。

5) 講師のお話(加山さん)

正社員と派遣の違いについて

6) 体験談(松本クラウドディオさん) ※クラウドディオさんは、以前、ワークピア教室に学習者として参加していた。

派遣から正社員になった松本さんの体験談(日本語)を聞く

7) 質疑応答

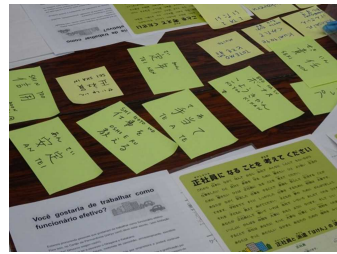
8) 「これからできることを考える」

(ワークシート記入の仕方説明)

9) ふりかえりシート記入

10) お知らせ(介護保険研修、ポレチン1月号)

11) 全体会



(2) 目標の達成状況・成果

「教室アンケート」を44人に実施し、「このプログラムを受けて、日本語が前より上手になったと思いますか。」の問いに対し、「上手になったと思う。」24人、「まあまあ上手になったと思う。」19人で、合せて43人が上手になったと答えている。また、「このプログラムを受ける前よりも、日本での生活ができるようになったと思いますか。」の問いに対し、「できるようになったと思う。」32人、「少しできるようになったと思う。」11人で、全員に生活上の成果がみられたという結果だった。このことにより、「生活に必要な日本語の習得」及び「人間関係を築くための日本語コミュニケーション力の養成」の目標はほぼ達成できたといえる。

中でも、今年度初めての試みとして実施した「日本生活スタートクラス」では、日系ブラジル人等に焦点をあてた活動を展開し、生活者としての外国人に寄り添い、必要性の高い項目に絞って日本語習得とよりよい社会生活につなげることができた。

「地域社会への参画」と「異文化に対する理解を深め、多文化共生のまちづくりに貢献する」ことについては、4つの教室でそれぞれに地域とつながる行動体験活動を取り入れたことにより、地域の日本人と交流する場面が創り出され、ある程度の効果があったが、まだまだ、外国人、日本人双方の多文化共生に対する意識の向上、及び外国人の地域社会への参画も十分になされているとはいえない状況である。

(3) 今後の改善点について

・指導者・補助者が不足ぎみで、対話活動をする上で、外国人との人数のバランスがとれず、十分な対応ができないことがある。更なる人材養成が必要。

・教室間で対話活動の質に差がある。テーマの選択、ねらいの設定、提示の仕方、グループ対話における補助の仕方など、より丁寧な活動をしていくために、日本語支援者のスキルをあげていきたい。

＜取組2＞

取組 2

実施内容								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名 斜体・太字:謝金有	補助者名 斜体・太字:謝金有
1	平成29年7月27日 (木) 19:00~21:00	2	磐田市豊田支所	83	自治会長と話そう「多文化共生」	・講話「多文化共生について話そうー多様性への気づきー」 ・災害時どこに避難すればいいか、自治会長と一緒に地図で確かめた。 ・国別にグループに分かれ、防災について話し合った。	土井佳彦 (NPO法人多文化共生リソースセンター東海代表理事)	伊藤ゆかり, 岩城宣子, 宇野薫, 大石佳典, 大場睦子, 加藤恵美, 川添裕子, 川原利彦, 鈴木優海, 中尾和可奈, 平野利直, 前嶋義夫, 茂木眞佐代, 山田紀子, 吉田洋子
2	平成29年10月26日 (木) 19:00~21:00	2	磐田市豊田支所	96	自治会長と話そう「多文化防災について考える」	・講話「みんなおなじそらのした」 ・自治会役員と外国人市民の意見交換	八木浩光(一般財団法人熊本市国際交流振興事業団事務局) ※謝金は一般財団法人自治体国際化協会「地域国際化推進アドバイザー派遣制度」を活用	足立進一郎, 宇野薫, 大石佳典, 大場睦子, 加藤厚美, 加藤恵美, 川崎和子, 川添裕子, 田中琢間, 永井秀和, 中尾和可奈, 中山修, 久永公子, 前嶋義夫, 茂木眞佐代, 山田紀子, 横家哲郎
3	平成29年12月3日 (日) 9:00~12:00	3	・豊田北部小学校 ・磐田南小学校 ・田原小学校 ・磐田市総合体育館	32	地域防災訓練への参加	【豊田北部小】炊き出し, AEDの使い方, 簡易トイレ・ベッドの作り方, 放水訓練, 新聞紙スリッパ, レジ袋応急手当て 【磐田南小】第1避難場所に集合し, ヘルメットを借りて徒歩で小学校へ。マンホールトイレの見学等。 【田原小】ペットを連れての避難について説明。簡易トイレのつくり方を見学。 【磐田市総合体育館】体育館の中に地区別に集合。炊き出し, AED訓練。	島岡信生(富岡地区防災運営本部 本部長) (謝金なし)	伊藤ゆかり, 宇野薫, 大石佳典, 大場睦子, 岡野知子, 川添裕子, 川本啓, 鈴木ゆみ(2h), 長谷川博子, 内藤金夫, 中尾和可奈, 西川恵子, 西川ゆうた, 村岡ジョルジ, 山田紀子

(1)特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第1回 平成29年7月27日】

自治会長と話そう「多文化共生」

<講師>

NPO法人多文化共生リソースセンター東海代表理事 土井佳彦 氏

<参加者>

外国人23人、自治会長42人、日本人補助者15人

<内容>

1. 「自治会長と多文化共生について話そうー多様性への気づきー」 講話
2. グループワーク①
災害時どこに避難すればいいか、自治会長と一緒に地図上で確認
3. グループワーク②
・国別のグループで自分たちにできること、役割を考える
・多文化の視点からみた防災の課題



○取組事例②

【第3回 平成29年12月3日】

地域防災訓練への参加

- ①豊田北部小学校グラウンド(富岡地区) 外国人21人、日本人10人
運動場に整列し、開会式。外国人参加者の列にならぶ。
4グループに分かれて自治会の方の誘導で、炊き出し、AEDの使い方、簡易トイレ・ベッドの作り方、放水訓練、新聞紙スリッパ、レジ袋
応急手当等を実施。
避難所運営実行委員会から外国人対応役員4人が、各グループにつき、全ての訓練を順番に案内してくれた。
日本語だけで書かれた掲示物を見た学習者がアドバイスをし、その場で中学生ボランティアがイラストで表示したり、ひらがなやローマ
字でルビをふってくれ、役員の方からも高く評価された。
- ②磐田南小学校グラウンド 外国人4人、日本人2人
第1避難場所に集合し、ヘルメットを借りて徒歩で小学校へ。マンホールトイレの見学等。
ブラジル人親子4人が初めて防災訓練を体験。
- ③磐田市総合体育館(かぶと塚公園) 外国人3人、日本人1人、通訳1人
体育館の中で地区別のブルーシートに集合。地域の人と交流。炊き出し、AED訓練。
- ④田原小学校 外国人4人、日本人1人
ベットを連れての避難について説明、簡易トイレのつくり方体見学。



(2) 目標の達成状況・成果

ふりかえりアンケートを書いてもらい、外国人・日本人双方に、多文化共生や多文化防災について気づきがあり、意識の向上につながった。

「自治会長とはなそう」では、グループワークで外国人と自治会長の相互コミュニケーションを図ることができただけでなく、情報を伝える時に翻訳や「やさしい日本語」への配慮について自治会長に考えてもらうことができた。外国人にとっても、自分たちにできることや役割について考える機会となった。

「地域防災訓練への参加」では、自分が住んでいる地域の訓練に参加することで、顔の見える関係を作ったり、避難所運営側が外国人も来ることを意識するきっかけとなった。4年連続で参加している豊田北部小の避難所運営訓練では、外国人が訓練に参加することが当たり前のこととして受け入れられるようになり、異文化に対する理解が広がっているのを感じる。

(3) 今後の改善点について

防災訓練があることを市のポルトガル語ホットラインで知っても、自分が何時にどこにいけばよいのか分からないという外国人がいた。SNS等を活用して、この取り組みをもっと広く知らせていく必要がある。

また、今回、4カ所の避難所運営訓練に参加してみて、地域によって訓練内容にかなりのばらつきがあることが分かった。どの地域でも充実した訓練となるように、繋ぎ役としての日本人参加者が地域住民に対して働きかけることができるとよい。

＜取組3＞										
取組3	取組の名称		保育園との連携による子育て日本語教室							
	取組の目標		・子育てと生活に必要な日本語の習得 ・子育てに必要な知識・情報を得る ・主体的な学びと国籍を越えた子育てネットワークづくり							
	取組の内容		外国人と日本人の子どもの保護者が、子育てという共通の目的を共有し、意見交換など交流しながら、実践を通して共に学んだ。(全6回) 教室名「多文化グローバル子育て教室」 第1回「子どもとの関わり方『こんなとき、どうする?』」連携:このとり東保育園 子育て寸劇(子供との生活の一場面を演じることで、子どもとの関わり方や声掛け等に対する気づきを促した) 第2回「子どもの心と成長—親子アート活動」講師:聖隷学園聖隷クリストファー大学社会福祉学部子ども教育福祉学科 教授 鈴木光男氏 アート活動を通して子どもの心と成長について学んだ 第3回「親子のための防災講座—子どもと一緒に避難所体験」講師:子どもの健康と環境を考える会 子どもを連れての避難所生活を模擬体験し、防災意識を高め、災害に備えた 第4回「自然の中の外遊び体験」講師:みんなでうさぎ山を楽しむ会 雨天のため落葉・松ぼっくり・どんぐり等を室内に持ち込んで遊んだ。 親子で自然で遊び、「自然を愛し自然に学ぶ豊かな心」や「自然の中で、生きる力やあたたかい心」を育んだ 第5回「ことばと教育」講師:磐田市教育委員会他 日本の教育制度や母語と日本語について学び、子どもの将来を見据え、教育資金の準備や家庭教育について考えた 第6回「料理教室『にこにこクッキング』」講師:このとり東保育園 食を通して交流しながら、日本食に馴染んでもらったり、栄養や調理方法について学んだ ※保育園に通園していない子どもには託児をつけた。 ※ポルトガル語の通訳をつけた。							
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動								
	取組による体制整備		子どもをまん中に、地域の様々な機関や団体が子育て・教育で繋がるネットワークづくり。 子どもをまん中にして、保育園と外国人・日本人保護者が相互に情報交換できたり、助け合える子育て仲間ネットワークづくり。							
	取組による日本語能力の向上		・子育てと生活に必要な日本語の習得 ・日本人の子育て仲間との対話による日本語コミュニケーション力の向上							
	参加対象者		0才から就学前の子どもを育てている外国人と日本人の保護者				参加者数 (内 外国人数)		31人 (8人)	
	広報及び募集方法		・「広報いわた」及びポルトガル語版「広報いわた」に募集記事を掲載 ・協会会報誌、ホームページ、Facebookに募集記事を掲載 ・このとり東保育園保護者に募集チラシを配付 ・募集チラシを磐田市外国人情報窓口、市内子育て支援センターで配布							
開催時間数		総時間 9.5 時間(空白地域0時間)								
主な連携・協働先		社会福祉法人聖隷福祉事業団このとり東保育園、聖隷学園聖隷クリストファー大学、子どもの健康と環境を考える会、みんなでうさぎ山を楽しむ会、磐田市教育委員会、磐田市多文化交流センター、カトリック磐田教会、磐田市幼稚園保育園課、子育て支援課、南御厨交流センター、NPO法人磐田まちづくりネットワーク								
参加者の出身・国別内訳 (人数)	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル		
	1	1	0	0	0	0	0	5		
ドミニカ共和国(1人)、日本(23人)										

実施内容								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名 斜体・太字:謝金有	補助者名 斜体・太字:謝金有
1	平成29年6月24日 (土) 9:30~11:00	1.5	こうのとり東 保育園	6	子どもとの関わり方 『こんなとき、どうする?』	①「劇団こうのとりの東」の皆さんによる寸劇 『子どものわがまま(要求)にどう応える?』 ①親子遠足②だっこして ②グループ対話「話し合おう」 ・どう思いましたか? ・自分ならどう関わりますか? ③共有 ④グループ対話「関わり方を演じてみよう」 ・場面を選ぶ ・役割分担(全員がなにかの役を演じる) ・脚本を考える ・練習 ⑤寸劇発表(グループ毎) ⑥まとめ 勝又園長のお話	こうのとりの東保育園(勝又みさ子, 神谷たつみ, 鈴木あや, 平野只直, 福井元美), 鈴木ゆみ ※外国人参加者0人のため謝金なし	大石佳典, 川添裕子, 中尾和可奈, 袴田千里 ※外国人参加者0人のため謝金なし
2	平成29年7月29日 (土) 9:30~11:00	1.5	こうのとり東 保育園	8	子どもの心と成長 —親子アート活動	1. 親子アート活動「トントンずもう」 ①やってみせる ②ルール説明, 文化説明 ③造形活動 ④対戦 2. 講話「子どもの心と成長」	鈴木光男(聖隷学園聖隷クリストファー大学) , 鈴木ゆみ※外国人参加者1人のため謝金なし	大石佳典, 川添裕子, 中尾和可奈 ※外国人参加者1人のため謝金なし
3	平成29年8月26日 (土) 9:30~11:00	1.5	南御厨交流 センター	10	親子のための防災講座	①ぼうさい絵本読み聞かせ(大型絵本) ②防災クイズ ・緊急地震速報(チャイム音)→ダンゴ虫ポーズ練習 ・津波警報(サイレン音)→津波避難タワーのマーク ・避難情報について ③避難所スペース紹介 ④災害時のトイレについて ⑤タッチケア体験 ⑥防災仕様のママバッグを考えよう! ・災害時のシュミレーション ・ママバッグに入れるグッズを考える ⑦役立つ防災グッズ紹介 携帯トイレ, ヘッドライト, ポンチョ ⑧性犯罪防止啓発 ⑨原子力災害対策について(UPZ・安定ヨウ素剤)	子どもの健康と環境を考える会 (鈴木弥栄子, 小林里佳, 齋藤久美子), 小長谷貴子(磐田市健康増進課), 鈴木ゆみ	大石佳典, 川添裕子, 袴田千里 ※外国人参加者2人のため謝金なし
4	平成29年10月28日 (土) 9:30~11:00	1.5	こうのとり東 保育園	6	自然の中の遊び体験	①落葉プールで遊ぶ ②落葉アートの作成 ③笛吹き体験, 縄の結び方体験 ④非常食のおやつ体験 ⑤秋の絵本読み聞かせ	うさぎ山を楽しむ会 (磯田恵美子, 兼子孝宏, 山下啓代), 鈴木ゆみ	大石佳典, 川添裕子 ※外国人参加者2人のため謝金なし
5	平成29年11月18日 (土) 9:30~11:00	1.5	こうのとり東 保育園	9	ことばと教育	1. ことばと支援 ①ことばの話 ②バイリンガル体験談 ③母語支援・学習支援の紹介 2. 日本の教育について 3. 教育資金の積立, 教育ローン紹介 4. 懇談	袴田美穂(磐田市教育委員会), 茂木眞佐代(多文化交流センター), 鈴木ゆみ	大石佳典, 川添裕子, 田中琢間, 中尾和可奈 ※外国人参加者3人のため一部謝金なし
6	平成30年2月24日 (土) 9:30~11:30	2	こうのとり東 保育園	14	料理教室『にこにこクッキング』	1. 調理方法, 調理の工夫説明 だしの取り方, 食材の下ごしらえ 和え物・おにぎりの作り方 2. 調理, 配膳 3. お食事交流会	こうのとりの東保育園(大杉みさお, 勝又みさ子), 鈴木ゆみ	大石佳典, 川添裕子 , 袴田千里

(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第3回 平成29年8月26日】

「親子のための防災講座」

①ぼうさい絵本読み聞かせ(大型絵本)

②防災クイズ

- ・緊急地震速報の説明をし、チャイム音が鳴ったら子どもを守る体勢(ダンゴ虫ポーズ)をやってみた。
- ・津波警報(サイレン音)を聞き、津波避難タワーのマークを確認。
- ・避難情報について

③避難所スペース紹介

養生テープで避難所の一人分のスペースを区切り、その広さ(狭さ)を確認。

④災害時のトイレについて

各地の震災時のトイレの様子を画像で写し出して説明。
災害に備えて何を準備しておかなければいけないかを考えた。

⑤タッチケア体験

災害時、心の傷を癒し、心の安定を保つための方法の一つとしてタッチケアを紹介し、輪になってお互いにやってみた。

⑥防災仕様のママバッグを考えよう!

・災害時のシュミレーション

外出時や、子どもが園にいる時に災害が起こることを想定して備えを考えた。
園の対応はどうだったか確認したり、普段から車に載せておくといものなど。

・ママバッグに入れるグッズを考えた

防災グッズリストの中から、子どもと一緒に避難する時に必要な物を考える。実際に自力で運べる量も考慮。

⑦役立つ防災グッズ紹介

携帯トイレ、ヘッドライト、ポンチョ

⑧性犯罪防止啓発

⑨原子力災害対策について

UPZと安定ヨウ素剤の説明



○取組事例②

【第5回 平成29年11月18日】

「ことばと教育」

1. ことばと支援

①ことばの話

・母語の大切さ、言葉は考える力に必要である事などを説明。

②バイリンガル体験談

・日本とブラジルを行き来し両方の学校で学んだ経験がある大学生の体験談を聞いた。

③母語支援・学習支援の紹介

・多文化交流センターのポルトガル語教室、小・中学生学習支援を紹介。

2. 日本の教育について(市教委指導主事)

・日本の学校で学ぶ外国人の子どもたちの様子と学習支援紹介。

・中学進学、高校進学について、教育制度と費用の説明。

3. 教育資金の積立て、教育ローンの紹介

4. 市教委指導主事や、保育園保育士を交えて懇談



(2) 目標の達成状況・成果

- ・毎回の講座で参加者にふりかえりシートに学んだことと感想を書いてもらった。
- ・日本語の習得に関しては、防災・教育・料理(調味料や調理方法)に関わる言葉を学ぶことができた。
- ・子育てに必要な知識・情報として、第1回で子どもとの関わり方、第2回で遊びを通じた心と学ぶ力の成長、第3回で子ども連れの防災、第5回で日本の教育情報と心得、第6回で栄養バランスと調理方法を学ぶことができた。
- ・子育てのネットワーク作りに関しては、連続して参加できる方が少なく、十分な成果が得られなかった。

(3) 今後の改善点について

- ・外国人の参加が少なかったので、誘い方に工夫が必要。
- ・多様な連携先を確保し、専門家の協力を得ることができ、大変充実した内容だっただけに、参加者が少なかったことがとても残念だった。参加者の募集に課題が残り、幼稚園保育園課、子育て支援課への働きかけを強化したい。

＜取組4＞										
取組4	取組の名称		学び合い、人とつながる日本語教室を支える日本語ボランティア養成講座							
	取組の目標		・地域日本語教育に携わる、多文化共生のまちづくりの意識を持った人材の拡充 ・外国人に対して「教える」のではなく「学び合う」姿勢を持ったボランティアの育成 ・コミュニケーションを活性化する活動方法を工夫できるボランティアの育成							
	取組の内容		地域の多文化共生と日本語教育について、講話と実践を交えて学んだ。対話活動の実践は、実際の教室で行った。 第1回 地域社会の多文化共生について考える 講師：静岡県立大学 国際関係学部准教授 高畑幸氏 第2回 地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割 講師：東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子氏 第3回 対話を中心とした教室活動、読み書き活動 第4回 対話活動の実践の計画・準備 第5回 実践 第6回 行動・体験を中心とした日本語活動 第7回 振り返り・まとめ							
		空白地域を含む場合、空白地域での活動	なし							
	□組による体制整備		日本語ボランティアの養成を行い日本語教育に携わる人材を拡充することで、地域日本語教育の体制を強化した。							
	取組による日本語能力の向上		対話活動の実践を実際の教室で行い、外国人参加者の日本語を使ったコミュニケーション力の向上につなげた。							
	参加対象者		日本語ボランティア活動に関心があり、修了後教室で活動できる人 日本語教室の外国人参加者	参加者数 (内 外国人数)		14人 (2人)				
	広報及び募集方法		・「広報いわた」に募集記事を掲載 ・協会会報誌、ホームページ、Facebookに募集記事を掲載 ・募集チラシを当協会会員に配布							
	開催時間数		総時間 21時間(空白地域 0時間)	1回		3時間		× 7回		
	主な連携・協働先		静岡県立大学 国際関係学部准教授 高畑幸 氏 東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子 氏							
参加者の出身・国別内訳 (人数)	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル		
	1								1	
	日本(12人)									
実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名 斜体・太字：謝金有	補助者名 斜体・太字：謝金有		
1	平成29年7月23日 (日) 13:30～16:30	3	磐田市役所 豊田支所	13	地域社会の多文化共生について考える	1. 日本における外国人の集住 2. 日本の地域社会 3. 外国人の受け入れ政策 4. 静岡県多文化意識調査 5. 外国人が増えた地域社会(事例紹介) 6. グループディスカッション 7. ふりかえりシートの記入	高畑幸	なし		
2	平成29年9月3日 (日) 13:30～16:30	3	磐田市役所 豊田支所	13	地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割	1. 「地域日本語教室の在り方」を考える 2. 日本語ボランティアの役割を考える 3. 日本語ボランティアの基礎力 4. 「ネタを見つける！」ために…地域日本語教室で行う活動内容 5. ふりかえり 6. ふりかえりシートの記入	米勢治子	なし		
3	平成29年10月15日 (日) 13:30～16:30	3	磐田市役所 豊田支所	14	対話を中心とした教室活動、読み書き活動	1. 対話を中心とした教室活動とは？ 2. 対話活動を体験してみよう 3. 対話活動のポイントまとめ 4. 読み書き活動について 5. 読み書き活動を体験してみよう 6. 活動テーマ・トピックについて 7. まとめ 8. 第4回、第5回について 9. ふりかえりシートの記入	川添裕子	なし		
4	平成29年11月12日 (日) 13:30～16:30	3	磐田市役所 豊田支所	9	対話活動の実践の計画・準備	1. 第5回の「実践」について 2. 今日のグループワークについて 3. グループワーク(実践授業計画と活動進行表の作成、提示準備) 4. 「提示」部分の発表 5. 質疑応答とまとめ 6. ふりかえりシートの記入	川添裕子	なし		

5	平成29年11月19日 (日) 13:30～16:30	3	西貝交流センター	2	実践	西貝日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ「誕生日」 3. ふりかえり	大場睦子	なし
	平成29年11月26日 (日) 13:30～16:30	3	竜洋交流センター	4	実践	竜洋日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ「行きたいところ、行ってよかったところ」 3. ふりかえり	伊藤ゆかり	なし
	平成29年12月3日 (日) 13:30～16:30	3	ワークピア磐田	5	実践	ワークピア日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ「年末年始の過ごし方」 3. ふりかえり	足立進一郎	なし
6	平成30年1月21日 (日) 13:30～16:30	3	磐田市役所 豊田支所	9	行動・体験を中心とした日本語活動	1. 行動体験中心の日本語活動とは？ 2. 活動事例紹介 3. 行動・体験中心の活動の流れ 4. 活動を考えてみよう(グループワーク) 5. 共有 6. ふりかえりシートの記入	川添裕子	なし
7	平成30年2月18日 (日) 13:30～16:30	3	磐田市役所 豊田支所	9	振り返り・まとめ	1. これまでのふりかえり ・第1～6回の概要とポイント ・第5回の実践のふりかえりと共有 2. これからの活動について考える ・4つの教室について ・どんな活動ができそうか、自分についてふりかえる ・教室への自分自身の参加の仕方 ・進行役とボランティアの活動 3. 座談会 4. ボランティア登録、ふりかえりシート記入	川添裕子	なし

(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第5回 平成29年12月3日】

実践: 対話活動

活動開始前～打合せと会場準備

1. あいさつ、自己紹介
2. ゲーム「誕生日並び」
3. トピック提示「年末年始の過ごし方」
4. グループ対話
5. 共有 全員発表
6. ペア対話
7. まとめ ふりかえりシート記入
8. 教室全体会

活動終了後～実践のふりかえり記入とミーティング



○取組事例②

【第6回 平成30年1月21日】

1. 行動・体験中心の日本語活動とは
2. 活動事例紹介
3. 行動・体験中心の活動の流れ
4. 活動を考えてみよう グループワーク
5. 共有 グループごと発表
6. ふりかえり



(2) 目標の達成状況・成果

・講座修了後、新規8名がボランティア登録(1名は以前から登録)、教室で活動する人材を拡充することができた。

・各回の終わりに記入するふりかえりシートから、受講者に多文化共生のまちづくりの意識や学び合う姿勢を持ってもらえたことがうかがえた。「違う文化、習慣を持つ外国人の人たちと共生していくには、コミュニケーションの場を持つ必要性を感じました。グループディスカッションはグループの人たちと話をする機会が出来、よかったです。外国人に対して自分ができることは、日本語を教えることだけではなく、いろいろあることに気づきました。(第1回)」「日本語教室は外国人のためだけではなく日本人にとっても暮らし易くなるような対話する場であることに気づきました(第2回)」「日本語教室の意味理解が大きく変化しました。日本語を覚える・教える教室ではなく、人間関係づくり、地域づくりの場であること(第2回)」等の感想があった。

・コミュニケーションを活性化する活動方法もそれぞれ工夫している様子が見られ、目標は達成できたと言える。実際の教室で行った対話活動の「実践(第5回)」では、それまでの学びを活かした活動方法の工夫が見られた。初めの挨拶で場が和むよう数か国の言語で「こんにちは」を言うように準備してきたり、自分の趣味を伝えるためにオカリナを持って来て演奏したり、対話活動の提示では写真や地図などを使って様々な日本語レベルの参加者に対話のテーマが伝わるようにしたりと様々な工夫がされていた。また、「行動・体験を中心とした日本語活動(第6回)」では、幼稚園・保育園等と連携して子どもと一緒にマラソンの応援をする案や、観光地にバスや電車を出かけて観光ボランティアの方たちにも外国人とのやりとりを体験してもらう案など、コミュニケーションを活性化する様々な活動方法が考案された。

(3) 今後の改善点について

【開催日時について】今回は実際の教室に参加できる新規の方を増やしたいと考え、日曜日の教室開催時間と重なる時間に講座を開催したが、すでにボランティアをしている方の参加もあり、講座がある日は教室に参加できなくなってしまった。今後はすでにボランティアで活動している方の受講も促進するため、開催日時を教室と重ならないようにする。

【教室の見学について】日本語教室に参加したことがない受講者が大半だったが、教室の見学は受講者の任意としていたため、講座の前半は実際の教室の様子や活動がイメージしにくい、活動が自分にできるか不安、という受講者が多かった。今後は前半に教室の見学を組み込み、早い段階で日本語教室の様子を知ってもらって講座の内容をより理解しやすい環境をつくりたい。

＜取組5＞											
取組5	取組の名称		日本語支援者のための多文化ソーシャルワーク研修								
	取組の目標		日本語教室に携わる日本語支援者が多文化ソーシャルワーカー的な資質を身につけ、外国人学習者に対して正確かつ適切なアドバイスをしたり、必要に応じて支援機関に繋ぐことができるようになる。								
	取組の内容		専門機関と連携し、外国人が抱えやすい問題を知り、それに対する支援体制を学んだ。 第1回【法律】外国人が巻き込まれやすい法的トラブル(DV・労災・交通事故等) 第2回【法律】在留資格 第3回【福祉】メンタルヘルス 第4回【医療】医療制度・保険、病院のかかり方・医療通訳 ※講師依頼については、(公財)静岡県国際交流協会、(公財)浜松国際交流協会、NPO法人フィリピン・ナガイサの協力を得た。								
		空白地域を含む場合、空白地域での活動									
	☐ 取組による体制整備		日本語教室と専門機関との連携体制を構築した。								
	取組による日本語能力の向上										
	参加対象者		日本語指導者・補助者 外国人支援に関心のある人(外国人・日本人) 福祉機関職員等外国人对応従事者				参加者数 (内 外国人数)		34人 (7人)		
	広報及び募集方法		・ホームページ、Facebookに募集記事を掲載 ・募集チラシを当協会会員に配布 ・磐田市地域づくり応援課・福祉課等の協力により、専門機関の外国人对応従事者へ募集案内								
	開催時間数		総時間8時間(空白地域0時間)								
	主な連携・協働先		村松正利行政書士事務所、磐田リベルラ法律事務所、磐田市立総合病院、(公財)浜松国際交流協会、(公財)静岡県国際交流協会、(公財)静岡県国際交流協会、NPO法人フィリピン・ナガイサ								
	参加者の出身・国別内訳(人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル	
			1	0	0	0	1	0	0	5	
		日本(27人)									
実施内容											
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名 斜体・太字:謝金有	補助者名 斜体・太字:謝金有			
1	平成30年1月20日(土) 10:00~12:00	2	磐田市豊田支所	20	法律① トラブル	外国人が巻き込まれやすい法的トラブル 問題を抱えている外国人がいたら… 法律相談予備知識	磐田リベルラ 法律事務所弁 護士 妹尾圭持	なし			
2	平成30年2月3日(土) 10:00~12:00	2	磐田市豊田支所	24	法律② 在留資格	日本語教室に参加する外国人の在留資格を知ろう! どういう資格で滞在してるの? 滞在期間や就労の範囲は?	村松正利行政 書士事務所行 政書士 村松正利	なし			
3	平成30年2月17日(土) 10:00~12:00	2	磐田市豊田支所	23	福祉 メンタルヘルス	外国で暮らすってタイヘン! 心のバランスが崩れることも 相談事例から状況や背景を学ぶ	(公財)浜松国際交流協会 心理士・メンタルヘルス相談・ポルトガル語通訳 吉留富子	なし			
4	平成30年3月17日(土) 10:00~12:00	2	磐田市豊田支所	20	医療	日本語教室で外国人に伝えておきたい医療情報 医療通訳の現場から見えてくる外国人の状況	磐田市立総合病院職員 榛村智加枝 医療コーディネーター ロドリゲス・チエミ	なし			

(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第3回 平成30年2月17日】

福祉・メンタルヘルス

「外国で暮らすってタイヘン！心のバランスが崩れることも。相談事例から状況や背景を学ぶ」

講師：(公財)浜松国際交流協会 メンタルヘルス相談員 吉留富子氏

1. 主催者趣旨説明
2. 参加者自己紹介
3. 講義
 - ①日系ブラジル人日本へ
 - ②日本での生活
 - ③リーマンショック、震災の影響
 - ④HIGEメンタルヘルス相談窓口
 - ⑤メンタルヘルス同行通訳
 - ⑥事例
 - ⑦質問
4. 意見交換
5. ふりかえりシートの記入



○取組事例②

【第4回 30年3月17日】

医療「日本語教室で外国人に伝えておきたい医療情報、医療通訳の現場から見てくる外国人の状況」

講師：磐田市立総合病院 職員 榛村智加枝氏、医療コーディネーター ロドリゲス・チエミ氏

1. 主催者趣旨説明
2. 参加者自己紹介
3. 講義
 - ①医療情報
 - ・医療保険制度
 - ・保険診療のしくみ
 - ・高額医療費制度と手続について
 - ・医療相談窓口
 - ・医療費の未収金対策
 - ・かかりつけ医と紹介状
 - ・病院のかかり方
 - ・救急診療について
 - ・外国人患者の状況
 - ・国際医療支援室の取組み
 - ②
4. 意見交換
5. ふりかえりシートの記入



(2) 目標の達成状況・成果

- ・毎回、ふりかえりシートに気づきと感想を記入してもらった。
- ・全て回において、現場の事例から外国人の現状を知ることができた。
- ・法テラスや相談窓口など、外国人がトラブルに合ったり、支援者が相談を受けた時に、どこに繋がればよいか知ることができた。
- ・参加者相互の交流ができ、顔見知りになったり名刺交換する等、支援者同士が繋がることができた。

(3) 今後の改善点について

- ・一度聞いただけでは理解が難しい内容もあったので、研修を重ねていきたい。
- ・今回は、発達支援等教育関係の研修を盛込めなかったのが、次年度のプログラムに組み込めると良い。
- ・ブラジル人関係の話が多かったので、フィリピンや他の国出身者のことも学んでいきたい。
- ・参加者それぞれの立場で、学んだことをどう活かすか話し合う時間があると良いという意見があったので、検討したい。
- ・現状を知っても、自分たちにできることは限られているので、何をすれば良いのか、何ができるのか、方針を持った内容にすべきだという意見があった。

＜取組6＞									
取組6	取組の名称		教育委員会との連携によるJSLサポーターの養成・研修						
	取組の目標		学校において外国人児童生徒に対する日本語指導をサポートするJSLサポーターの人材拡充						
	取組の内容		学校での外国人児童生徒への支援について、講話と実践を交えて学んだ。 第1回 外国の子ども事情を学ぶ 「磐田市における外国人児童生徒の実情と支援について」 講師：磐田市教育委員会学校教育課 指導主事 井浪秀一氏 「外国人の子どもの社会参加を支援する-ライフコースと学びの連続性の視点から-」 講師：東京学芸大学教育学部 教授 齋藤ひろみ氏 第2回 サポートを見学する 市立小学校（在籍学級・在籍学級以外の教室）、磐田市外国人児童生徒初期支援教室NIJI 第3回 サポート方法を学ぶ 支援の心得、支援方法を学ぶ 講師：（一社）磐田国際交流協会 理事 鈴木亨司 学校の先生の話を聞く 支援を受けた経験者の話を聞く 第4回 サポートを体験する①：市立小学校（取り出し教室、在籍学級）、振り返り 第5回 サポートを体験する②：市立小学校（在籍学級）、振り返り						
		空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	□組による体制整備		JSLサポーターの研修及び新たなサポーターの養成を行い、外国人児童生徒に対する日本語指導をサポートする人材の拡充を図ることで、支援体制を強化した。						
	取組による日本語能力の向上								
	参加対象者		・学校において外国人児童生徒に対する日本語指導をサポートする活動に関心のある人 ・JSLサポーター・外国人児童生徒支援員で希望する人				参加者数 （内 外国人数）	35 人 （ 2 人）	
	広報及び募集方法		・「広報いわた」に募集記事を掲載 ・協会会報誌、ホームページ、Facebookに募集記事を掲載 ・日本語教室指導者・補助者、JSLサポーター、外国人児童生徒支援員、磐田市多文化交流センター関係者及び当協会会員へ募集チラシを配付						
	開催時間数		総時間 15 時間（空白地域 時間）			1回 3 時間 × 5 回			
	主な連携・協働先		・磐田市教育委員会学校教育課 ・磐田市内公立小学校 ・磐田市外国人児童生徒初期支援教室NIJI						
参加者の出身・国別内訳（人数）		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
									2
		日本(33人)							
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名	
1	平成29年7月1日 （土） 13:30～16:30	3	磐田市 豊田支所	35	外国の子ども事情を学ぶ	初回として、外国人の子どもについて大きな視点からその概要を把握してもらえるよう、磐田市の現状と、子どもの置かれている状況や支援の必要性などについて専門家から話を聞いた。	井浪秀一 齋藤ひろみ	なし	
2	平成29年7月12日 （水） 9:30～12:30	3	磐田市立 中部小学校	7	サポートを見学する	サポートをイメージしてもらうため、取り出し教室と在籍学級、外国人児童生徒初期支援教室NIJIで、サポートを見学した。	鈴木亨司	なし	
3	平成29年7月22日 （土） 13:30～16:30	3	磐田市 豊田支所	17	サポート方法を学ぶ	具体的なサポート方法について話を聞いた。更に、クラスの子どもがサポートを受けたことのある学校の先生から、どのようなサポートが有効かなどの話を聞いた。また、過去にサポートを受けたことのある高校生からも、サポーターがしてくれたことや自分の変化について話を聞いた。その後、グループに分かれて、外国人の子どもやサポートのことなど話し合った。	鈴木亨司 高橋恵子(発表者) 松井江利(発表者) 岩崎チエ(発表者)	なし	
4	平成29年10月13日 （金） 9:30～12:30	3	磐田市立 東部小学校	7	サポートを体験する	取り出し教室で1時間、在籍学級で1時間、サポートを体験した。	鈴木亨司	なし	
5	平成29年11月13日 （月） 9:30～12:30	3	磐田市立 東部小学校	5	サポートを体験する	在籍学級で2時間、サポートを体験した。	鈴木亨司	なし	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 平成29年7月1日】

「外国の子ども事情を学ぶ」(公開講座)

1. 趣旨説明 一般社団法人磐田国際交流協会理事 鈴木亨司
2. 講話「磐田市における外国人児童生徒の現状と支援について」
講師: 磐田市教育委員会学校教育課 指導主事 井浪秀一氏
3. 講話「外国人の子どもの社会参加を支援するライフコースと学びの連続性の視点から」
講師: 東京学芸大学教育学部 教授 齋藤ひろみ氏
4. 質疑応答
5. ふりかえり



○取組事例②

【第3回 平成29年7月22日】

「サポート方法を学ぶ」

1. 外国人児童生徒学習支援事業(JSLサポート)について 一般社団法人磐田国際交流協会理事 鈴木亨司
2. 事例紹介 福田小学校 教諭 高橋恵子氏、富士見小学校 教諭 松井江利氏、磐田南高等学校定時制3年 岩崎チエさん
3. グループでの話し合い、発表(受講のきっかけ・動機、講話を聴いたりサポートを見学したりして印象に残ったこと、疑問や不安)
4. ふりかえり



(2) 目標の達成状況・成果

・講座修了後、新規3名がJSLサポーターに応募、面接を経て2018年度JSLサポーターとして活動することになり、人材を確保することができた。

・第1回から第5回までの流れの中で、受講者は無理なく少しずつ外国人の子どもをサポートすることについて理解とイメージを膨らませられたようだった。「市の現状や支援について初めて知ることばかりでしたが、一中略ー 先生方のお話の中で母語の重要性や日本語教育の役割の深さが良く分かりました。(第1回)」、「サポーターとしての心構えについていろいろ聞かせていただき、心しなくてはと思いました。(第3回)」、「たくさん褒める声かけの大切さがよくわかりました。できている子、集中している子は見守り、できた時に褒めるととても嬉しそうでした。分からなかったり戸惑っている子も、少しフォローすると自分の力で進めていける姿が見られました。(第4回)」などの感想があり、回を追うごとに具体的にサポートを捉えていっている様子がうかがえた。

・第3回は現役のJSLサポーターからも参加を募った。新規の受講者は、現役のJSLサポーターと話をしたことで、不安や疑問が和らいだり、自分も子どもたちの力になりたいという思いが強くなったりした。現役JSLサポーターは、学校の先生方、サポート経験者の話を聴いたことで、JSLサポーターが何をすべきか、何を求められているかを確認でき、JSLサポートの原点に立ち返ることができた。

・地域日本語教室の子どもクラスの指導や磐田市多文化交流センターのボランティアとして既に活動している受講者もあり、地域全体の外国人子ども支援の人材発掘・養成に貢献している。

(3) 今後の改善点について

1. 募集条件について

今回は募集に際し特に応募条件を設けなかったが、実際に活動することを前提に、運転免許の有無や年齢の目安等の条件を検討する必要がある。

2. 募集人数の設定

今回は募集定員を8人としたが、サポート体験実施の際の受け入れ校の負担を減らし、受講者に対してより充実した指導を行うために、募集定員を見直す。

3. JSLサポーター登録制度の整備

JSLサポートは1年毎の契約であり、JSLサポーターの必要人数も年毎の設定となるため、受講者が全員サポーターとしてすぐに活動できるかが不確定である。受講者の講座修了後の受け皿として、JSLサポーター登録制度を整備したい。また、このことはサポーターの欠員や市教委からの要請へのスムーズな対応等、安定した運営にもつながる。

4. 市教委との連携強化

JSLサポートをより有効に活用してもらうためには、校長先生はじめ学校の先生方が、磐田市の外国人児童生徒支援体制とJSLサポーターの役割等について理解していることが重要である。そのために市教委との連携を強化し、より一層のJSLサポートの周知・浸透を図っていきたい。

＜取組7＞									
取組7	取組の名称		「いわたインターナショナルフォーラム」における日本語教室の活動紹介と成果発表						
	取組の目標		日本語教室の活動を一般市民に広く周知し、日本語教育に対する理解を促進する。 日本語教室の活動の成果を発表することにより、外国人参加者のエンパワーメントを実現する。						
	取組の内容		「いわたインターナショナルフォーラム」の中で、日本語教室の活動紹介と成果発表を行った。 ①教室紹介ブースの出展と世界の文化体験コーナー 【教室紹介ブース】写真等を貼ったパネルで日本語教室の様子を来場者に紹介した。チラシを配布して日本語教室を周知した。 【文化体験コーナー】日本語教室の学習者が主体となって、木のおもちゃ、カードゲーム等、来場者と一緒に体験して交流した。 ②多文化グローバル子育て教室成果発表 体験コーナー「多言語絵本よみかせ」 多文化グローバル子育て教室の受講者が中心となって、各国の絵本を、来場者に向けて多言語で読み聞かせをした。 ③日本語教室の子どもたちによる子ども絵画展参加 作品展示「くじらぐも」						
		空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	☐ 取組による体制整備		「いわたインターナショナルフォーラム」の実行委員には、当協会の他、一般社団法人磐田青年会議所、磐田市自治会連合会、NPO法人磐田まちづくりネットワーク、磐田ユネスコ協会、ブラジル人学校エスコラ・オブジェチーボ・チアホーザ、カトリック磐田教会、共生のなかま「樹の会」、国際ソロプチミスト磐田、磐田市地域づくり応援課、磐田信用金庫、磐田未来クラブが委員として参画。 これらの組織・団体と協力・連携を図り、広く一般市民へ日本語教室の活動を周知し、地域日本語教育体制を強化した。						
	取組による日本語能力の向上		・フォーラム当日、会場で一般市民と交流することによる、日本語コミュニケーションの実践						
	参加対象者		日本語教室参加者、一般市民				参加者数 (内 外国人数)		950人 (246人)
	広報及び募集方法		・「広報いわた」に募集記事掲載 ・ポルトガル語版磐田市広報誌に募集記事を掲載 ・当協会会報誌及びホームページ及びフェイスブックに募集記事を掲載 ・チラシの全戸回覧 ・交流センター等公共施設へのポスター掲示とチラシの配架						
	開催時間数		総時間6時間(空白地域0時間)						
	主な連携・協働先		一般社団法人磐田青年会議所、磐田市自治会連合会、NPO法人磐田まちづくりネットワーク、磐田ユネスコ協会、ブラジル人学校エスコラ・オブジェチーボ・チアホーザ、カトリック磐田教会、共生のなかま「樹の会」、国際ソロプチミスト磐田、磐田市地域づくり応援課、磐田信用金庫、磐田未来クラブと実行委員会を組織する。						
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		25	20	0	5	20	10	16	120
		オーストラリア(1人)、アメリカ(5人)、台湾(3人)、ペルー(10人)、インド(3人)、スリランカ(8人)、日本(704人)							
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名
1	平成30年2月11日 (日) 10:00～16:00	6	ワークピア磐田	24 ※内容①～③に関わった外国人学習者数	日本語教室の活動紹介と成果発表	①教室紹介ブースの出展と世界の文化体験コーナー ②体験コーナー「多言語絵本よみかせ」 ③子ども絵画展作品展示「くじらぐも」		宇野薫 ※日本語教室活動内で指導	茂木眞佐代 兼子桂司

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【平成30年2月11日】

「いわた国際ナショナルフォーラム2018」(10:00～16:00)の中で、日本語教室の活動紹介と成果発表を行った。

①日本語教室の活動紹介と体験型交流 10:00～15:00

【教室紹介ブース】写真等を貼ったパネルで日本語教室の様子を来場者に紹介した。チラシを配布して日本語教室を周知した。

【文化体験コーナー】日本語教室の学習者が主体となって、木のおもちゃ、カードゲーム等、来場者と一緒に体験して交流した。

②多文化グローバル子育て教室成果発表 11:00～11:30

体験コーナー「多言語絵本よみきかせ」

【読み手】ブラジル2人、ベトナム1人、日本1人

【聞き手】ブラジル人学校の親子を中心に約25人

③日本語教室の子どもたちによる子ども絵画展参加 作品展示「くじらぐも」



(2) 目標の達成状況・成果

・このイベントが毎年恒例事業として認知され、多くの日本人が楽しみにしてくれており、今年も来場者が多かった。日本語教室紹介のブースでは、ゲーム等体験できる遊びを取り入れたので、立ち寄りの方が多く、日本語教室の活動を一般市民に広く知ってもらえた。
・多言語絵本よみきかせの会場を、昨年までの和室から2階ホールに変更したことで、より多くの来場者に聞いてもらうことができた。特に、今年は、ブラジル人学校がステージでポルトガル語劇をやった後の時間によみきかせを実施したことで、多くの外国人保護者とその子ども達に聞いてもらうことができた。絵本の読み聞かせをした保護者は、絵本を通じて出身国の文化を紹介し主体的・能動的に多文化理解促進のための活動を行うことができた。

(3) 今後の改善点について

・日本語教室を紹介するブースについて、日本人主導で企画しているので、日本語教室のコミュニティを中心にしながら、外国人が主体的に教室紹介ブースの計画から実施までできるとよい。
・「多言語絵本よみきかせ」は、国際ナショナルフォーラムの場だけでなく、市民活動展等でも年2～3回実施している。読み手になっている外国人と日本人の保護者でグループを形成し、市民活動として子ども図書館等で継続的に活動していきたいと考えている。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

多様な連携・協力体制を構築し、多角的な切り口から「生活者としての外国人」のニーズに応える多様な日本語学習の場を提供するとともに、多文化共生のまちづくりを目指して地域の日本語教育環境を整える。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

・行政、地域交流センター、社会福祉協議会、自治会、保育園、市民団体、病院、専門機関等と連携して日本語教育活動を行うことができた。このことにより、多角的な切り口から「生活者としての外国人」のニーズに応える多様な日本語学習の場を提供するという目標を達成できたといえる。
・平成26年度から4年連続でプログラムBを活用し、多文化共生のまちづくりを目指した連携体制を構築してきことで、水防演習など防災関係の催しや、夏まつりなど地域行事を開く際に、協会に対して外国人の参加を依頼されたり、消防署から火災予防啓発や、県から就労支援の説明会等、日本語教室の場を使った外国人への情報提供の依頼がくるようになった。このように、地域活動や外国人の生活向上に役立つ他機関の取組と、日本語教育活動との連携が次々と生まれるようになったことから、地域の日本語教育環境をある程度整えることができたと考える。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・社会福祉協議会との連携で参加した「豊田ふれあいフェスタ」、地域交流センターと連携した夏まつりへの参加では、多くの地域の方と交流し、外国人が日本語を使ってコミュニケーションをとることができ、更に地域の方に日本語教室の活動を知ってもらうことができた。
・磐田市立総合病院の出前講座を日本語教室で開催したり、病院職員とソーシャルワーカーを多文化ソーシャルワーク研修の講師として呼ぶなどして、協会と病院の連携が深まったことで、病院で開催される多文化共生の勉強会や研修会に、協会から講師として呼ばれるようになり、外国人に対する理解促進と多文化共生の考え方の普及に繋がっている。
・日本語教室に教員を招いて、日本の学校での外国人児童の様子や家庭学習について話してもらったことで、外国人保護者が学校から出される宿題について理解を深め、家で子どもの宿題をみるできるようになった。
・JSLサポーター養成・研修で、専門の大学教授や市教育委員会指導主事、学校教諭等を講師に招き、外国人児童の状況を学び、更には小学校の協力を得て実際の授業で支援体験をしたことで、新しいJSLサポーターが養成され新年度の支援体制の充実に繋がった。
・JSLサポーター養成・研修で、支援を受けながら進学を果たした高校生を招き体験談を聞いたことがきっかけとなり、同じ高校生がインターナショナルフォーラムのステージで体験談をインタビュー形式で話した事で、200人以上の日本人と外国人に対し、外国ルーツの子どもの現状を知ってもらい、支援の必要性を認識してもらうことができた。特に市議会議員の反応が顕著だった。
・地域つながりづくり講座で、4カ所の避難所運営訓練に参加したことで、避難所を運営する自治会や自主防災会に、避難所での外国人対応について考えてもらうことができた。
・多文化グローバル子育て教室で、市教育委員会の指導主事に日本の教育制度や教育資金について話してもらったことで、外国人保護者が子どもの教育設計について、言葉の面と費用の面を計画的に考えるようになった。
・多文化グローバル子育て教室のにこにこキッチンで、このとり東保育園の調理師から栄養と日本のだしの取り方を教えてもらい、外国人保護者の日本料理に対する疑問が解決したり、給食への理解が深まった。

(4) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・磐田市外国人情報窓口で、転入外国人に対し、日本語教室の情報を常時周知している。窓口の通訳を介して日本語教室への参加申込みができ、教室に参加しやすい環境になっている。
・協会のホームページに多言語で教室の案内を掲載。
・地域と交流した夏まつりや文化祭、防災訓練など主な活動の様子については、その都度フェイスブックとホームページに掲載した。更に、年3回発行される協会の会報誌に写真付きで事業報告をした。会報誌は会員に配布される他、公共施設に配架したり、市内全戸に回覧したりしている。

(5) 改善点、今後の課題について

・日本語教室の支援者が不足で、対話活動をする上で、外国人との人数のバランスがとれず、十分な対応ができないことがある。更なる人材養成が必要。
・地域と外国人をつなぐ日本語活動を組み立て実施できる人材に限られているため、行動・体験活動を広げることができない。行動・体験活動をプログラミングし、他機関と調整をしながら実施できる人材の育成が急務。
・教室コーディネーターが高齢になってきたので、後継者を育てていかなければならない。
・フィリピン人の教室への参加が少ない。アプローチの仕方を工夫したい。
・技能実習生と定住・永住者とはニーズが異なり、活動内容の調整が難しいことがある。教室内の体制を考えていきたい。

(6) その他参考資料

●チラシ

- ・いわたICE(磐田国際交流協会)地域日本語教室(日本語・ポルトガル語)
- ・豊田大人と子どものにほんご教室(豊田教室)
- ・ゆかたで夏祭りにいきませんか？(富岡交流センター夏まつり)
- ・たのしい日本語(西貝教室)
- ・日本語教室in竜洋(竜洋教室)
- ・竜洋日本語教室料理交流会
- ・にほんごきょうしつ(ワークピア教室)
- ・自治会長さんと話そう(やさしい日本語・ポルトガル語)
- ・自治会長さんと話そう 多文化防災について考える(やさしい日本語・ポルトガル語)
- ・防災訓練に参加しよう！(日本語・ポルトガル語)
- ・多文化グローバル子育て教室2017(日本語・ポルトガル語・英語)
- ・多言語絵本よみかせ
- ・日本語ボランティア養成講座
- ・日本語支援者のための多文化ソーシャルワーク研修
- ・外国の子どもの学習サポーター養成講座 第1回「外国の子ども事情を学ぶ」(公開講座)
- ・いわたインターナショナルフォーラム2018(日本語・ポルトガル語)
- ・いわたインターナショナルフォーラム2018当日チラシ(外面・内面)

●アンケート・振り返り

- ・第1回多文化共生にむけた情報交換会2017年7月27日 ふりかえりアンケート回答、ポルトガル語翻訳
- ・多文化共生促進会議2017年10月26日 ふりかえりアンケート回答
- ・多文化グローバル子育て教室2017ふりかえりシート 第1回～第6回
- ・日本語ボランティア養成講座 振り返り 第1回～第7回
- ・多文化ソーシャルワーク研修 第1回アンケート
- ・多文化ソーシャルワーク研修 気づき・感想 第2回～4回
- ・外国の子どもの学習サポーター養成講座 振り返り 第1回～第5回

●学習ポートフォリオ

- ・Can-do statement判定結果(豊田教室、西貝教室) ※個人情報のためHPには掲載していません。